家庭用

15.6インチ液晶
ポータブルDVDプレーヤー

取扱説明書

地上 DIGITAL

データ放送には
対応していません

1SEG ワンセグ



Model No:

OT-FD156K

この度は本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

＜必ずお読みください＞

電気製品は安全の為の注意事項を守らないと、火災や人身事故になる場合がございます。
本書には、事故を未然に防ぐ為の重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
本書をよくお読みの上、製品を安全にご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

目 次

はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-6
付属品リスト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
各部名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
電源の接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
外部機器との接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
充電について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
リモコンの使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12-13
リモコンの電池交換の方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
DVD の再生 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15-17
CD の再生 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
SD カード /USB メモリの使用
　外部メディアの読込み ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19-20
　音楽ファイルの再生 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
　動画ファイルの再生 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
　画像ファイルの再生 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23-24
　CD からメディアに録音 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
メディア / ファイルについて ・・・・・・・・・・・・・・・ 26
機能設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27-29
地上デジタル放送の視聴
　ご視聴前の準備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30-35
　各種設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36-38
録画機能を使う ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39-44
トラブルシューティング（故障かな？と思ったら）・・・・ 45-46
各種注釈 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
製品仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
保証規定／アフターサービス ・・・・・・・・・・・・・・・ 49

安全上のご注意

●ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●この「安全上のご注意」が守られていない場合は、保証致しかねます。

■表示の説明

表　示	表 示 の 意 味
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること”を示します。

＊1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の例

図 記 号	図 記 号 の 意 味
	“ ⃠ ”は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	“ ● ”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	“ △ ”は、注意を示します 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき　⚠警告

煙が出たり、変なにおいがしたりするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
　そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。



内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
　そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



落としたり、キャビネットを破損したリしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
　そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと
　そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。



はじめに

設置されるとき

⚠警告

風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所には置かないこと
火災・感電の原因になります。



電源プラグは先に本機に接続してから交流100Vのコンセントに接続し、付属の専用ACアダプターを使用すること
接続順を逆にしたり、付属品以外を使用したり、また交流100V以外を使用すると、
火災・感電の原因となります。　DCプラグはDC12Vマイナスアース車専用です。



ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと
本機が落ちて、けがの原因となります。



上に物を置かないこと
金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が入った場合、火災・感電の原因となります。
重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。



ご使用になるとき

修理・改造・分解をしないこと
火災・感電の原因となります。
点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。



ディスクトレイなどから異物を入れないこと
金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



雷が鳴りだしたら、本機に触れないこと
感電の原因となります。



電源コードは
・傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと
・引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと
・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと
火災・感電の原因となります。



お手入れについて

電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとること
電源プラグの絶縁低下により、感電の原因となります。



はじめに

設置されるとき

⚠注意

温度の高い場所に置かないこと
直射日光の当たる場所・締め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。



湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと
加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。



風通しの悪い場所に置かないこと
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
・壁に押しつけないでください。
・押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
・テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
・じゅうたんやふとんの上に置かないでください。
・あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。



移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線を外すこと
電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続線などを外さずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。



ご使用になるとき

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないこと
電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。必ず電源プラグを持って抜いてください。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと
感電の原因になります。



旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと
万一故障したとき、火災の原因となりことがあります。



ディスクトレイに、手を入れないこと
指をはさみ、けがの原因となることがあります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと
ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。



はじめに

ご使用になるとき

⚠注意

電源を入れる前には**本体及び接続機器の**音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。



リモコンに使用している電池は、
「 指定以外の電池を使用しない事 」「 極性(+)(—)を間違えて挿入しない事 」「 充電・加熱･分解･ショートしたり、火の中に入れたりしない事 」「 電池に表示されている【使用推奨期限】を過ぎたり、使い切った電池をリモコンに入れたまま放置しない事 」

これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。



◎取り扱いに関すること

■引っ越しなどで 移動させるとき、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。

■殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
長時間ご使用になっていると 本 機が多少熱くなりますが、故障ではありません。

■ふだん使用しないときは必ずディスクを取り出し、電源スイッチを切っておいてください。

■長時間使用しないとき 機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用してください。

◎置き場所に関すること

■本機は水平な場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクが外れるなどして、故障の原因となります。

■本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中、画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような病状が発生した場合はテレビや ラジオ、ビデオから離してください。

◎お手入れに関すること

■キャビネットや操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。

■よごれがひどいときは、布を水でうすめた 中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変 色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。

■化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

◎日本国内用です

本機を使用できるのは日本国内のみです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。

◎結露（露付き）について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。　○“結露”はこんなときおきます。

◇本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
◇暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき
◇夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき
◇湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき

■結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入　ておくと、本機があたたまり、 2 ～ 3 時間で水滴 がとれます。またコンセントに接続しておくと“結露（露付き）”が生じにくくなります。

はじめに

◆ディスクの取扱いと用語

再生できるディスク

本機では、下記のディスクを再生することができます。

	マーク（ロゴ）	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオディスク	DVD VIDEO	映像（動画）＋音声	12cm
音楽用ＣＤ	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音　声	12cm

また、以下のメディアも再生することができます。

●DVD ビデオフォーマットの DVD-R/RW
●CPRM/VR モードで地デジ放送を録画し、且つファイナライズ処理された DVD-R/RW
●ビデオモードでアナログ放送を録画し、且つファイナライズ処理された DVD-R/RW
●CD-DA フォーマット（音楽用 CD）の CD-R/RW
●MP3、WMA または JPEG 形式のファイルが記録された CD-R/RW

※上記のディスクであっても、録画された DVD レコーダーとディスクと本機との互換性相性により再生できない場合もあります。予めご了承ください
※パソコンで録画・作成されたディスクや DVD レコーダー以外の機器によって作成されたディスク、短い収録時間のディスクは再生できない場合があります。予めご了承ください。
※H.264 ／ MPEG4AVC 形式のファイルは非対応です。
※本機は NTSC テレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式（PAL、SECAM）表示のディスクは非対応です。
※DVD±R DL には対応しておりません。また MP3 等のデータは状況により再生できない場合があります。
※ファイナライズ処理をされていないディスクの再生はできません。

＊CPRM について ...
CPRM とは Content Protecti onfor Recordable Media の略で、コピーを制限する著作権保護技術のことです。デジタル放送をディスクにダビングして再生するには、CPRM 対応のディスクと再生機器が必要になります。

＊ファイナライズ処理について ...
ファイナライズとは、映像をダビングしたディスクと再生機器の互換性を高めるための処理のことです。例えば、映像をダビングしたディスクを再生する場合、そのディスクにダビングした機器（DVD レコーダーなど）では再生が可能なのに、同じディスクを他の機器で再生しようとするとディスクエラーとなる場合があります。これは、ダビングを行った機器ではディスクにデータが記録されている場所が認識できるが、それ以外の機器ではわからないために起こる現象です。このような事態を避け、そのディスクに記録したデータを他の機器でも再生可能なデータ配列にするためにファイナライズ処理が必要になります。

◆ディスクの取扱いと用語（つづき）

ディスクに関する用語について

一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

タ イ ト ル：DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。
チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。
ト ラ ッ ク：音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」といいます。
ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

ディスクの取り扱いかた

●再生面には手を触れないでください。



●ディスクに紙やシールを貼らないでください。



ディスク保管のしかた

●直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
●浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
●ディスクは必ず専用のケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

ディスクの取り扱いかた

●ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。



●よごれがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

●初めてご使用になる際は、
ディスクトレー内に入っている
保護カバーを外してからご使用下さい。

保護カバー ⇒

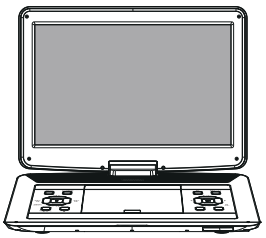


付属品リスト

プレーヤーをご使用いただく前に、以下の内容物が全て揃っていることをご確認ください。

※イラストは実物と異なる場合があります。

※製造時には十分に注意を払っておりますが、液晶パネルには画面の一部が点灯していなかったり、常時点灯する画素が発生することがあります。また、見る角度によって色や明るさにムラが生じることがあります。液晶パネルの特性に付き、予めご了承ください。



■プレーヤー本体



■リモコン



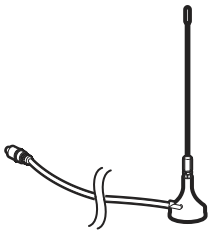
■AC アダプター



■車載用バッグ



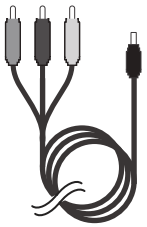
■イヤホン（Φ3.5mm）



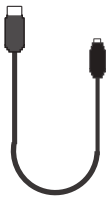
■簡易 TV アンテナ（屋外用）



■カーバッテリーアダプター（12V 専用）



■RCA 映像 / 音声 AV コード



■USB変換ケーブル



■取扱説明書（本書）



■ミニ B-CAS カード

※本製品に付属のアンテナは屋外用の簡易アンテナです。室内でテレビをご視聴される場合は、家庭用アンテナと接続の上、ご視聴することをお勧めいたします。

●特に初回起動時はスキャンの失敗やチャンネルの登録漏れを防ぐ為、家庭用アンテナや受信感度の強い室内用アンテナと接続してください。

※同梱されているリモコン用の電池はテスト用電池です。早めに新品と交換してください。

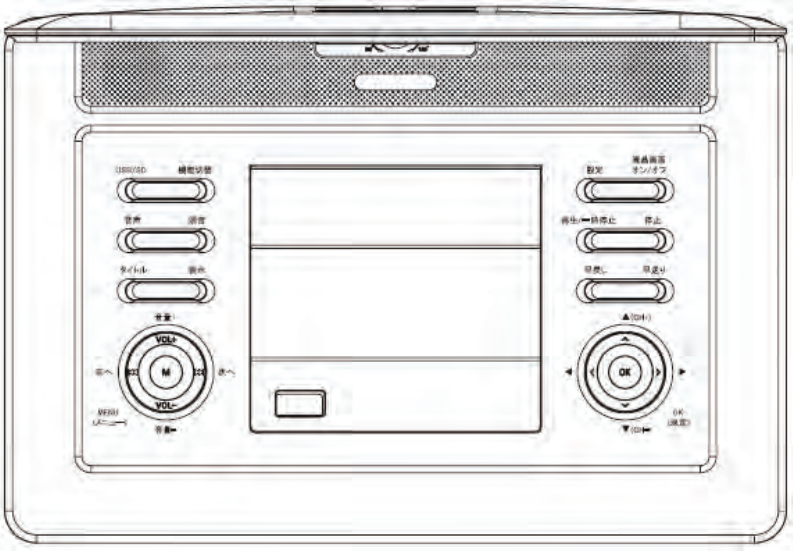
カーアダプターについてのご注意 ...

- ●カーアダプターをご使用になる時はお車のエンジンをかけてから接続してください。
- ●カーアダプターをご使用になる時は安全な場所に車を停めてからご使用ください。
- ●本製品は DC12V バッテリー仕様の自動車専用です。
- ●マイナスアース車専用です。プラスアース車には使用できません。
- ●自動車のシガレットライターソケットの形式・寸法によっては、本製品を取り付けられない場合があります。予めご了承ください。

各部名称

【本体上面左側】
①DVD/外部メモリーモード切替
②DVD/TV/AV入力モード切替
③音声切替
④消音
⑤タイトル表示
⑥画面表示

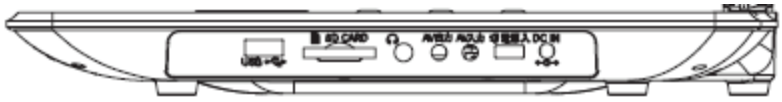
⑦メニュー
⑧音量+/−
⑨前へ/次へ



【本体上面右側】
⑩設定
⑪液晶画面オン/オフ
⑫再生/一時停止
⑬停止
⑭早戻し
⑮早送り

⑯OK
⑰チャンネル+/−
⑱左/右

【本体側面右側】
①USB端子（再生用）
②SDカードスロット（再生用）
③イヤホン出力端子
④AV入力端子
⑤AV出力端子
⑥主電源スイッチ（切/入）
⑦DC入力端子



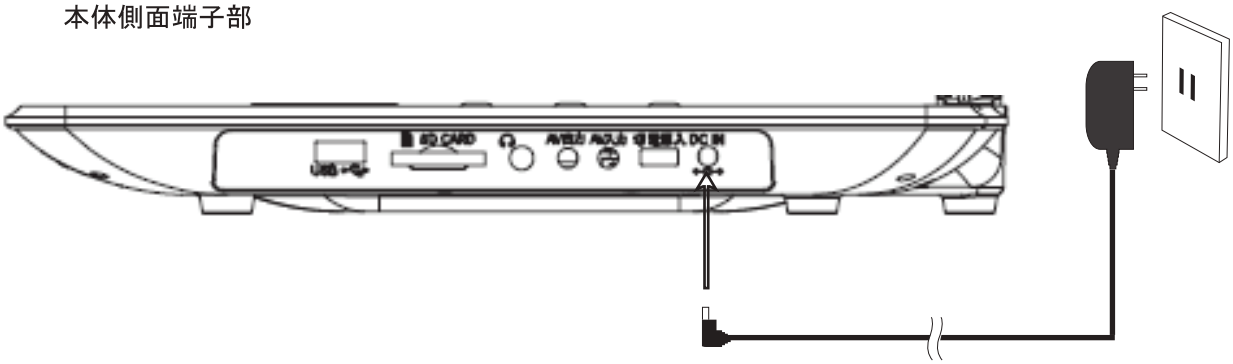
【本体側面左側】
①miniB-CASカードスロット
②miniUSB端子（地デジ録画用）
※本体刻印は「U/G」
③アンテナF端子



電源の接続

●AC アダプターの接続

本体側面端子部



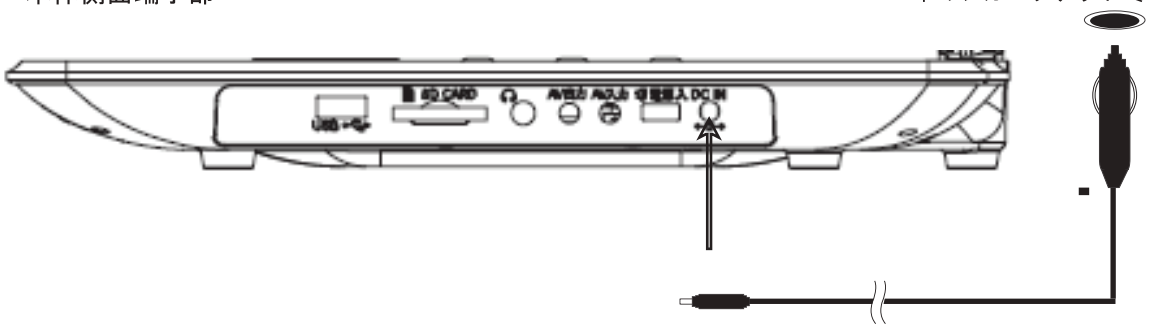
付属のACアダプターを本体右側の電源端子とコンセントに接続します。（上図参照）

⚠ご注意ください

※電源スイッチが切になっていることを確認してください。
※ACアダプターは必ず付属のものをお使いください。

●車用シガーライターアダプター（付属）の接続

本体側面端子部　　車のシガーソケット〔12V〕



付属の車用シガーライターアダプターを本体右側の電源端子と車のシガーソケットに接続します。（上図参照）

⚠ご注意ください

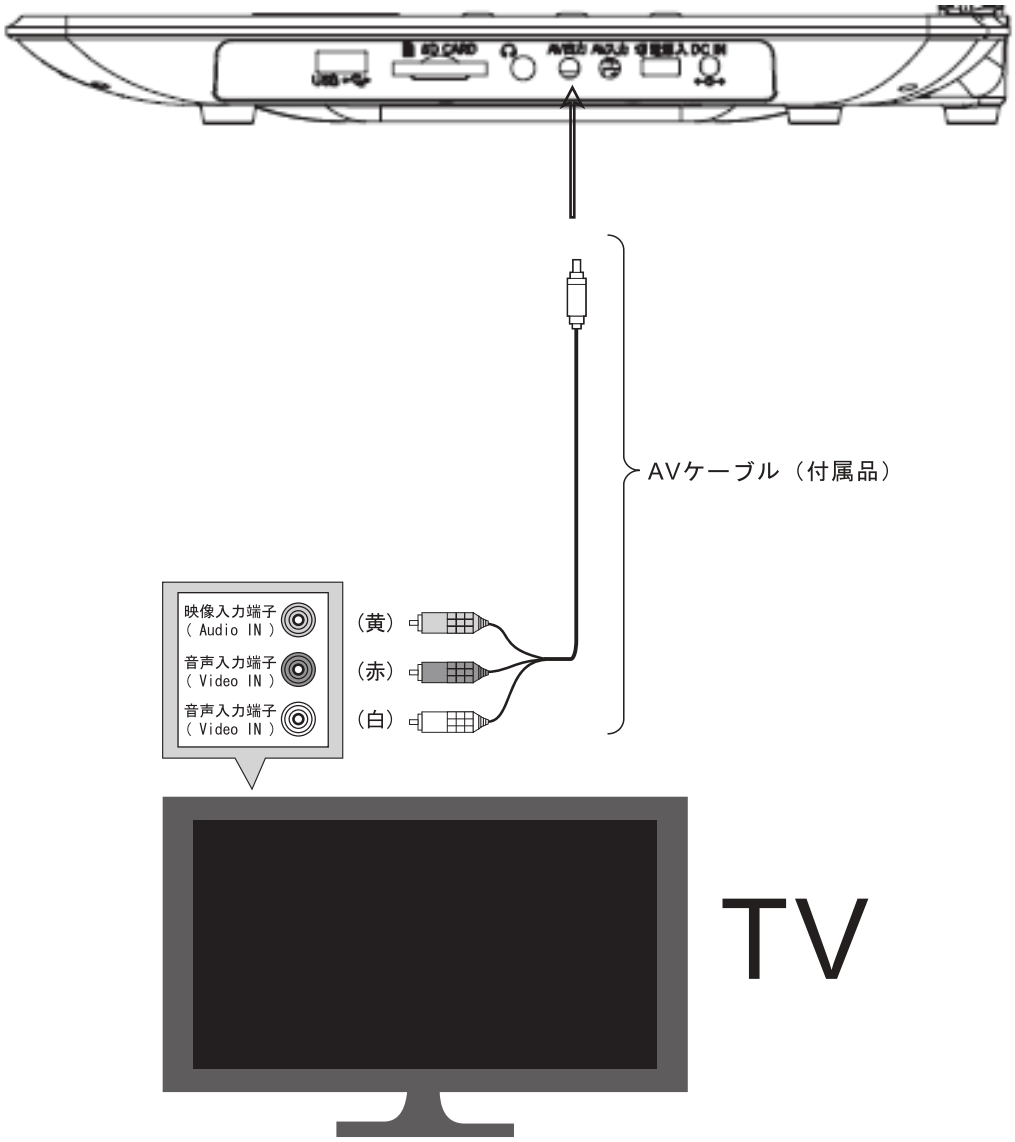
※車用シガーライターアダプターを使っての充電はおやめください。
※車用シガーライターアダプターは〔12V〕車でのみお使いいただけます。その他の車では絶対に使用しないでください。
※車のエンジンをかける前に接続するのはおやめください。故障の原因になります。

外部機器との接続

●外部モニター（テレビなど）との接続

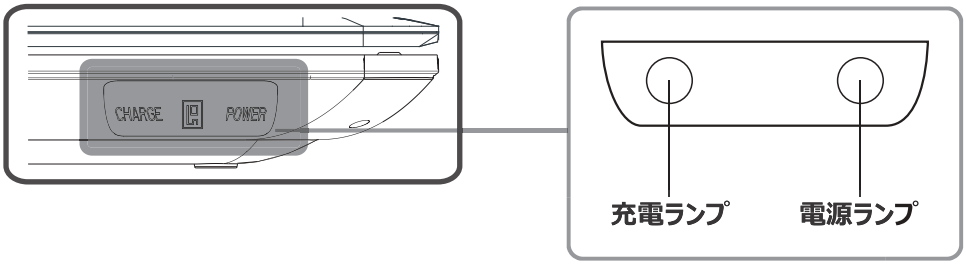
本機で再生した映像を、外部のモニター（テレビなど）で視聴することができます。本体右側のビデオ出力端子とモニター（テレビ）側の入力端子を AV ケーブルで接続してください。（下図参照）
モニター（テレビ）側の設定に関しては、お使いのモニター（テレビ）の取扱説明書をご参照ください。
※必ず付属の AV ケーブルをご使用ください

本体側面端子部



充電について

本機にはリチウムポリマー電池が内蔵されており、充電済みであれば電源がない場所でもご使用が可能です。電源オフ時で充電池に充電されていない状態から充電を開始した場合、約 4 時間でフル充電になります。
フル充電の状態での DVD や地上デジタル放送の視聴時間は約 2 時間です。（音量最小時）
※音量を最大にするなど使用条件によって上記時間より短くなる場合があります。



充電方法

①電源ボタンをオフにした状態で、付属の AC アダプターを本体右側の電源端子とコンセントに接続します。
②充電中は本体前面の充電ランプが赤色に点灯します。このランプの点灯が緑色に変わると充電完了です。

充電と再生時間

●充電池はフル充電するたびに充電池自体の充電最大容量が少しずつ少なくなっていきます。充電後の再生時間は、お客様の充電環境と再生回数・再生方法に依存します事をご了承ください。
●充電池の容量が全て無くなってから次のフル充電をする事で、充電池の寿命を長持ちできます。
●本機は内蔵式充電池です。ご自身での充電池交換（解体等）は絶対にしないでください。

⚠ご注意ください

※充電が完了したら、速やかにACアダプターのプラグをコンセントから外してください。過度の充電は故障や事故の原因となりますので、ご注意ください。
※電源スイッチがオフになっていることを確認してください。
※ACアダプターは必ず付属のものをお使いください。
※車用シガーライターアダプターを使っての充電はおやめください。
※本DVDプレーヤーは12V車でのみお使いいただけます。その他のお車では絶対に使用しないでください。
※車のエンジンをかける前に接続するのはおやめください。故障の原因になります。

［リモコンの使用方法

① USB/SD ・録画リストボタン
USB、SDの入力切換及びTV録画リストを表示する場合に使用します。

② 電源ボタン

③ 数字ボタン
場面や曲の番号を直接入力する場合に使用します。

④ CH▲ボタン
方向ボタン上 /CH+を選択する時に使用します。

⑤ 設定ボタン
DVD/AV：本体設定画面を表示します。
TV ：受信波の情報を表示します

⑥ 決定ボタン
各種設定や選択項目を実行します。

⑦ 左ボタン
方向左を選択する時に使用します。

⑧ CH▼ボタン
方向ボタン下 /CH-を選択する時に使用します

⑨ メニュー ボタン
デイスク再生に押すとDVDのメニュー画面に戻ります。
TV設定 メニュー　を表示します。

⑩ 早送り
⑪ 早戻し
デイスクの再生中に押すと早戻し／早送りを行います。

⑫ ズーム
⑬ タイトル
デイスクの再生中に押すと機能います。（対応DVDのみ）



[リモコンの使用方法`



⑭ 液晶画面オン／オフボタン　（音声は消えません）
液晶画面をオンまたは消す時に使用します。

⑮ 機能切替ボタン
DVD/TV/AVの切り替えをします。

⑯ 音声切換ボタン
音声を切換える時に使用します。

⑰ 字幕・録音ボタン
字幕を切替える時に使用します。
CDから録音する時に使用します。

⑱ アングルボタン　（対応ソフトのみ）
デイスク再生中、映像のアングルを切換える際に使用します。
録画ボタン
TVモード時に録画する時に使用します。

⑲ プログラム　・EPGボタン
プログラム再生の設定時に使用します。
TVモード時にテレビの番組表を表示します。

⑳ 音量＋ボタン
音置を大きくする時に使用します。

㉑ 表示・戻るボタン

㉒ 消音ボタン
音声を消すときに使用します。

㉓ 停止ボタン
再生を停止する時に使用します。

㉔ 再生・一時停止ボタン
再生中に押すと一時停止します。
もう一度押すと再生を再開します。

㉕ 早戻し
早送り
ディスクの再生中に押すと早戻し/早送りを行います。

㉖ スローボタン
スロー再生をする時に使用します。

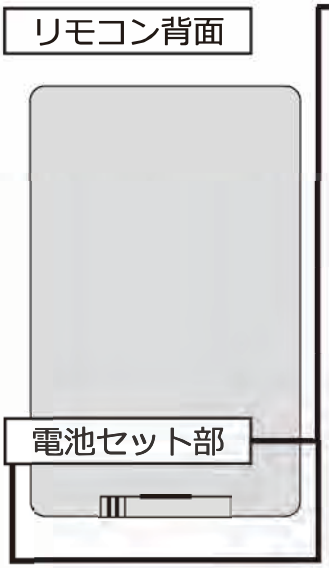
㉗ リ　ピ　ー　ト
リピート再生する時に使用します。

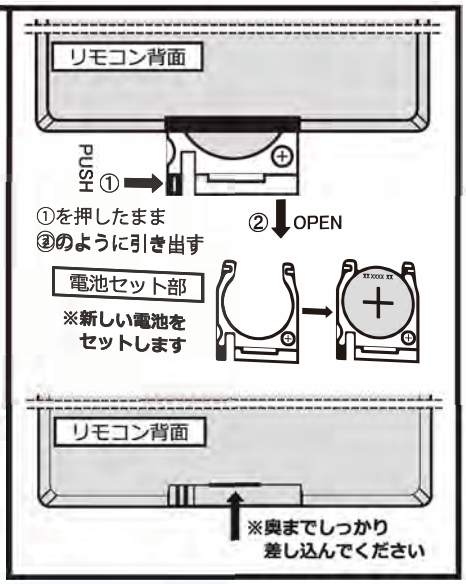
リモコンの電池交換の方法

※本機リモコン用の電池は「CR2025」型です。別途電池をご用意する際は型番をご確認の上お買い求めください。
※リモコンに初期セットされている電池はテスト用のものですので、別売新品の電池と早めに交換してください。
※電池交換の作業を行う際は、電池セット部のツメ折れや傷などにご注意ください。

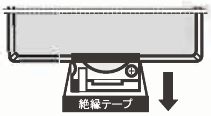
■電池交換の方法

1. 電池セット部分のツメを右に押したまま電池セット部を引き出す。
2. 古い電池を取り出して、新しい電池に交換する。（+/−の向き注意）
3. 電池セット部分を奥まで正確に差し込む。









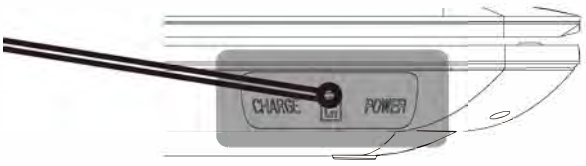
※はじめてご利用される際は図のような絶縁テープが電池セット部に差し込まれています。
電池セット部を引き出して絶縁テープを外してからご使用ください。



■リモコンの使用方法

リモコンを使用する場合、リモコンの赤外線発射部を本機のリモコン受光部に向けて操作してください。受光する角度は、±30°、距離は４メートル以内です。

IR リモコン受光部
（本体正面右下部）
＊充電中または主電源を入れた時に
LED ランプが点灯する部分です



※本機リモコン受光部およびリモコンの赤外線発射部に太陽光や強い光をあてないでください。正常に作動しない場合があります。

DVDの再生

1. 電源を入れる

本体に電源を接続し、電源スイッチを「ON」にしてください。

2. ディスクを入れる

本体の OPEN ボタンを押してディスクカバーを開け、ディスクのラベル面を上にして、ディスクをセットし、ディスクカバーを閉じます。

※ディスクカバーの開閉は特に丁寧にお取り扱いください。故障の原因となります

3. 再生の開始

カバーを閉じると自動で再生がはじまります。はじまらない場合はタイトル等を選択しリモコンまたは本体の再生 / 一時停止ボタンを押してください。

4. 一時停止

再生中にリモコンまたは本体の再生 / 一時停止ボタンを押すと、再生を一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。

5. 停止

再生中に停止ボタン■を押すと仮停止し、画面に「再生キーを押し、継続」と表示されます。この状態でリモコンまたは本体の再生 / 一時停止ボタンを押すと停止した場面の続きから再生が始まり、もう一度停止ボタン■を押すと、完全に再生が停止されます。

6. 音量の調節

再生中、リモコンまたは本体の音量 + ボタンを押すと音量が大きく、音量 - ボタンを押すと音量が小さくなります。

7. 場面のスキップ

再生中にリモコンまたは本体のスキップ次ボタン ▶▶| またはスキップ前ボタン |◀◀ を押すと、1 つ次または前のチャプターに移動します。

※チャプターの編集がされていない場合は機能しません。

注：個人で作成されたディスクや海外のディスク等はディスクによっては時間がかかったり読み込み時に音がしたりします。
デジタル放送を録画・ダビングしたディスクの場合、CPRM 対応ディスクで VR モードで書き込み最後にファイナライズ処理をしたものでないと認識しません。
ディスクの種類や相性によっては再生できない場合があります。すべてのディスクの再生を保証するものではございません。

8. 早送り・早戻し

再生中にリモコンまたは本体の早送りボタン▶▶または早戻しボタン◀◀を押すと、早送りまたは早戻し再生をすることができます。
再生速度はボタンを押すごとに変わります。

通常再生→2倍速→4倍速→8倍速→16倍速→32倍速

9. 場面を選択して再生

リモコンのメニューボタンを押すとメニュー画面に入り、DVDの内容が画面に表示され再生するチャプターや字幕などを簡単に選択することができます。

※ディスクによってはメニュー画面がない場合もあります。

10. アングルの切替

再生中にリモコンのアングルボタンを押すと映像のアングルを切替えることができます。
ボタンを押す回数によってデイスクに記録された異なるアングルの映像に切替わります。
切替可能なアングルの数と、再生しているアングルの番号が画面に表示されます。
※アングル切替えは、マルチアングルで録画されたDVDのみで使用可能な機能です。
マルチアングルのデイスクかどうかはDVDのジャケットやケースカバー などをご参照ください。

11. 音声切替

再生中にリモコンの音声ボタンを押すと、音声を切替えることができます。音声ボタンを押すたびに、音声の言語が切替ります。
切替可能な音声の数と再生している音声の番号が画面に表示されます。
※デイスクによってはDVDタイトル画面から音声切替を行わなければならないものがあります。

12. 字幕切替

再生中にリモコンの字幕ボタンを押すと、字幕を切替えることができます。字幕ボタンを押すたびに字幕の言語が切替ります。切替可能な字幕の数と再生している字幕の番号が画面に表示されます。

※ディスクによっては DVD のタイトル画面から字幕切替を行わなければならないものもあります。

※字幕データが収録されていないディスクでは、この機能は使えません。

13. ズーム切替

再生中にリモコンのズームボタンを押すと、画面の表示倍率を変えることができます。

ズームボタンを押すたびに、

「2 倍」→「3 倍」→「4 倍」→「1/2」→「1/3」→「1/4」→「オフ（通常）」の順に画面の倍率が変わります。拡大表示中に上下左右ボタンを押すと、画像を動かして表示範囲外になっている部分を見ることができます。

14. リピート再生

再生中にリモコンのリピートボタンを押すとリピート再生を行うことができます。

リピートボタンを押すたびに、

「チャプターリピート」→「タイトルリピート」→「ディクス全体のオールリピート」→「通常再生」の順で切り替わります。

15. スロー再生

再生中にリモコンのスローボタンを押すと、スロー再生を行うことができます。

スローボタンを押すたびに、

「▶1/2」→「▶1/4」→「▶1/8」→「▶1/16」→「◀ 1/2」→「◀ 1/4」→「◀ 1/8」→「◀ 1/16」→「通常再生」の順で再生速度が切替ります。

16. 消音

再生中にリモコンの消音ボタンを押すと、音声のみを消すことができます。

もう一度消音ボタンを押すと再び音声が出ます。

CDの再生

本機では音楽 CD を再生することもできます。音楽 CD をセットしてディスクカバーを閉じると、自動的に再生を開始します。音楽 CD の再生では DVD の再生と同じボタン操作で、以下の操作を行うことができます。

●再生 ●停止 ●一時停止 ●前後スキップ ●早送り ●早戻し
●リピート再生●消音

CD 再生時の画面表示

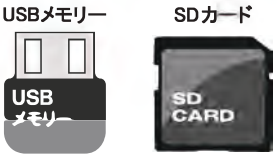
音楽 CD の再生中は、トラック（収録曲）の再生時間等の情報が画面に表示されます。
表示ボタンを押すたびに、
「シングル残り時間」→「トータル経過時間」→「トータル残り時間」→「シングル経過時間」の順に表示が切替ります。



SDカード／USBメモリの使用　外部メディアの読込み

本体側面（右側）





SD カードの接続（SD カードスロットは本体側面の右側にあります）
SD カードの表面を上にして SD カードスロットに差し込んでください。

USB メモリーの接続（USB 入力端子は本体側面の右側にあります）
USB メモリーの向きを確認して入力端子部に差し込んでください。

外部メディアの読込み手順

SD カードや USB メモリーは差し込むだけで自動認識します。
＊DVD 再生時は USB/SD ボタンを押してください。
＜手順＞
・電源 OFF→DVD/CD のディスクを入れない状態で USB メモリーや SD カードを挿入
→電源 ON→DVD 画面から「読込中」「ディスク無し」「検索中」の順で文字が表示
→その後、外部メディア内のフォルダやファイルを認識します。
＊上記の手順でも認識しない場合、主電源を OFF にして本機を再起動してください
＊再起動後も認識しない場合はメディアとの相性や互換性・その他の問題が考えられます。
違うメーカーなど他のメディアでお試しください。

※高画質・高解像度のデータは読み込まない場合があります。
※記録された順序で再生されない場合があります。また記録状況により音飛びしたり再生できない場合があります。
※映像、画像とも再生時の画像比は 16:9 で表示されます。

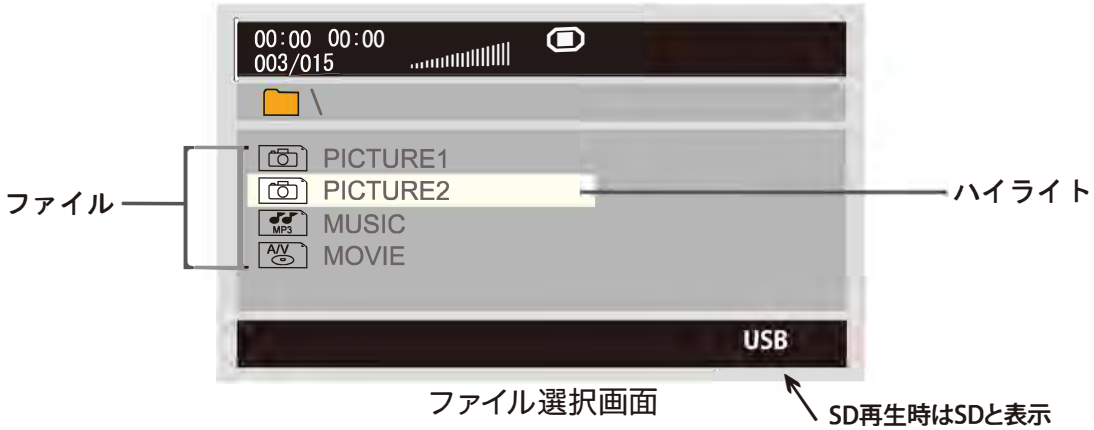
●注意：
データの読込み中や再生中には USB/SD の出し入れは行わないでください。
本機は最大容量 8GB までの外部メディア（USB/SD）に対応しております。
ただし、メーカーや型式によっては読み込まない場合が稀にあります。
その場合はパソコン等でメディアを初期化してから再度お試しください。
※本機の対応ファイル形式は WMA・AVI・MP3・JPEG です。
※外部メディアについての作動保証・サポートはしておりません。

フォルダー

各フォルダーを選択し本体の「再生 / 一時停止」あるいはリモコンの「決定」を押すと、フォルダー内のファイル一覧が表示されます。前画面に戻るにはタイトルのない（タイトル部 ... 表示）フォルダーを選択し、本体の「再生 / 一時停止」あるいはリモコンの「決定」を押します。

ファイルの再生

ファイル選択画面に、メディア内のフォルダやファイルが表示されます。
リモコンまたは本体の▲▼ボタンでハイライトを移動させ、再生したいファイルを選択し、再生一時停止ボタンを押すと、そのファイルから再生が始まります。
※詳しい再生方法は P21 ～ P24 をご参照ください。



注：ファイルの順番は撮影日時や同期やコピーした順にはならびません。

すべてのファイルやメディアの再生を保証するものではありません。

本機では MP3 形式および WMA 形式のファイルが保存されたメディアを再生することができます。



MP3 形式および WMA 形式のファイルが保存されたメディアを本機にセットすると、上記の画面が表示されます。（本機に対応した形式で記録されたメディアのみ使用可能です。）
この画面でメディア上のファイルを選択し、再生する曲を決定します。
※Wave サウンドファイルは認識しません。
　その他の音楽ファイルが再生できない場合については 26 ページをご参照ください。

操作方法

●リモコンの ▲▼方向ボタン押して黄色のハイライトを移動させ、再生したいファイルを選択します。
●リモコンの決定ボタンまたは本体の OK ボタンを押すと選択したファイルが再生されます。

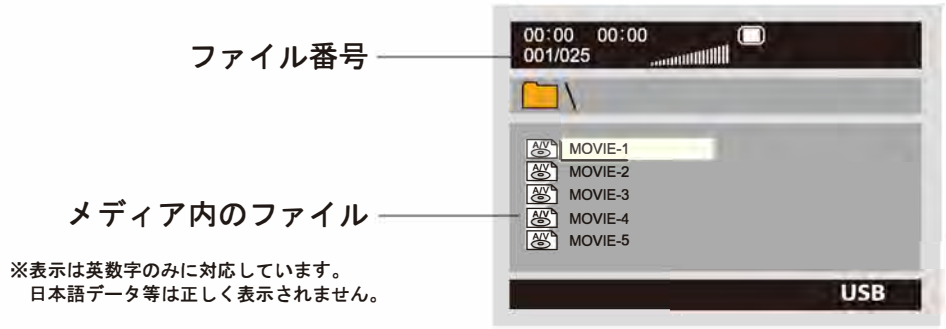
●再生中に方向ボタン ▲▼を押して次に再生したいファイルを選択することもできます。その時、現在再生中のファイルは白いハイライトで表示されます。

＊音楽ファイルの再生中は次の操作を行うことができます。
・停止……リモコンまたは本体の停止ボタンを押す。
・一時停止……リモコンまたは本体の再生 / 一時停止ボタンを押す。
・リピート再生…リモコンのリピートボタンを押します。ボタンを押すごとにリピートの方式が次のように変わります。

・シングルリピート　：再生中のファイルを繰り返し再生
・フォルダーリピート：フォルダ内のすべてのファイルを繰り返し再生
・リピートオフ　　：通常の再生に戻る

注：**すべてのファイルやメディアの再生を保証するものではありません。**

本機では MPEG2 形式および AVI 形式のファイルが保存されたメディアを再生することができます。



MPEG2 形式および AVI 形式のファイルが保存されたメディアを本機にセットすると、上記の画面が表示されます。（本機に対応した形式で記録されたメディアのみ使用可能です。）
この画面でメディア上のファイルを選択し、再生する動画を決定します。
※MPEG4・AVC 形式のデータは再生できません。
　その他の動画ファイルが再生できない場合については 26 ページをご参照ください。

操作方法

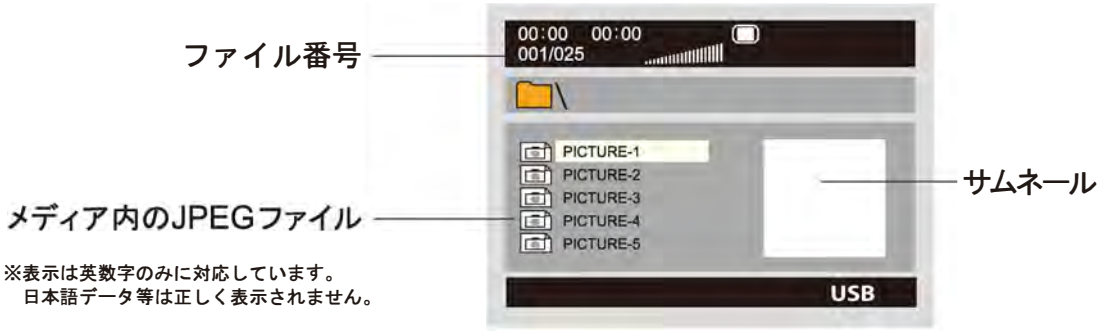
●リモコンの▲▼方向ボタンを押して黄色のハイライトを移動させ、再生したいファイルを選択します。
●リモコンの決定ボタンまたは再生 / 一時停止ボタン・本体の再生 / 一時停止ボタンを押すと選択したファイルが再生されます。
（ファイルに保存方法よっては再生中にスキップボタンを押すと、前後のファイルを再生できる場合もあります。）

＊音楽ファイルの再生中は次の操作を行うことができます。
・停止……リモコンまたは本体の停止ボタンを押す。
・一時停止……リモコンまたは本体の再生 / 一時停止ボタンを押す。
・リピート再生…リモコンのリピートボタンを押します。ボタンを押すごとにリピートの方式が次のように変わります。

・シングルリピート　：再生中のファイルを繰り返し再生
・フォルダーリピート：フォルダ内のすべてのファイルを繰り返し再生
・リピートオフ　　：通常の再生に戻る

注：**すべてのファイルやメディアの再生を保証するものではありません。**

本機では JPEG 形式のファイルが保存されたメディアを再生することができます。



JPEG 形式のファイルが保存されたメディアを本機にセットすると、上記の画面が表示されます。（本機に対応した形式で記録されたメディアのみ使用可能です。）
この画面でメディア上のファイルを選択し、表示する画像を決定します。
※画像ファイルが再生できない場合については 26 ページをご参照ください。

操作方法

●リモコンの▲▼方向ボタンを押して黄色のハイライトを移動させ、再生したいファイルを選択します。右側にサムネール（小さい画像）が表示されます。
●リモコンの決定ボタンまたは再生 / 一時停止ボタン・本体の再生 / 一時停止ボタンを押すと選択したファイルが表示されます。

＊画像ファイルの再生中は次の操作を行うことができます。
・停止……リモコンまたは本体の停止ボタンを押す。
・一時停止……リモコンまたは本体の再生 / 一時停止ボタンを押す。
・リピート再生…リモコンのリピートボタンを押します。ボタンを押すごとにリピートの方式が次のように変わります。

・シングルリピート　：再生中のファイルを繰り返し再生
・フォルダーリピート：フォルダ内のすべてのファイルを繰り返し再生
・リピートオフ　　：通常の再生に戻る

・画像の回転……スライドショーの最中にリモコンの▶ボタンを押すと、画像が 90 度右に、
◀ボタンを押すと 90 度左に回転します。
・画像の反転……スライドショーの最中にリモコンの▲ボタンを押すと、画像が上下に、
▼ボタンを押すと左右に反転します。
※スライドショーの最中にメニューボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

重要：**画像の表示は縦横比が 16:9 のサイズで再生されます。**
ファイルやフォルダの順序は撮影順やペースト順などにはなりません。

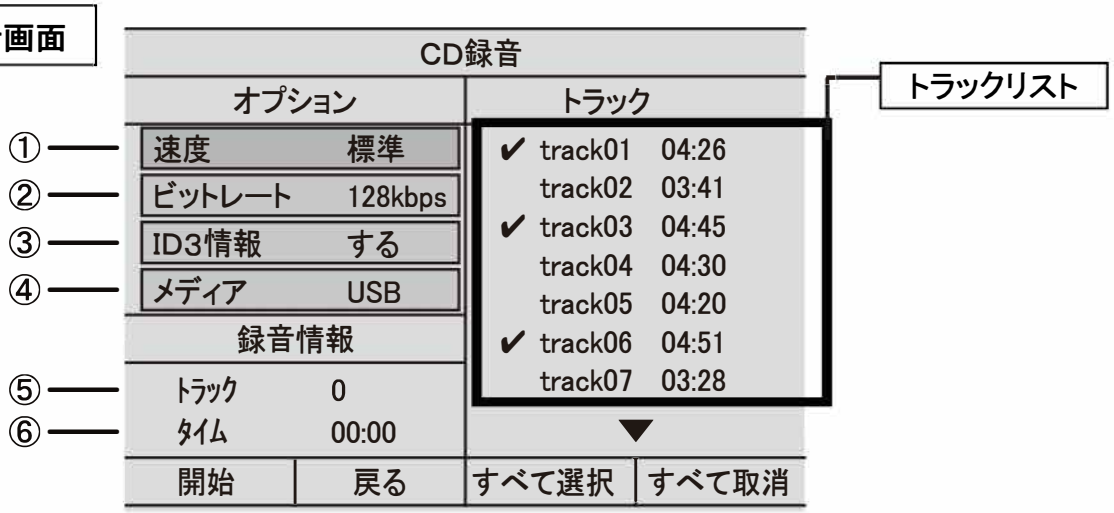
注：**すべてのファイルやメディアの再生を保証するものではありません。**

！重要：録音操作の前にメディア内のデータは必ずバックアップ保存してください。

・USB または SD に空き容量がない場合「Device full!」と表示され記録できません。
・録音中、本機の音量・音質を変えても録音される音声には影響ありません。
・本機で録音した場合は MP3 形式で記録されます。
・容量の大きいメディアを接続した場合、読込み時に時間がかかることがあります。
・本機ではフォルダ名やファイル名の入力は出来ません。本機では MP3/WMA ファイル形式のディスク、市販の音楽 CD からの録音が可能です。

1. 外部メディア（USB・SD）を各入力端子に挿入してください。
2. 録音したい CD ディスクを再生してください。
　リモコンの「字幕」ボタンを押すと、録音画面が表示されます。
※再生の途中でも録音ボタンを押すと、曲の先頭から録音されます。

録音画面



3. リモコンの方向ボタンで、項目を移動します。決定ボタンで決定します。
①録音スピード：「決定」ボタンを押すごとに録音スピードが切替えられます。
（標準⇔高速）
※標準録音スピード状態の場合、ファイルの録音と同時に再生します。
　倍速録音スピード状態の場合、録音しながら同時に再生は出来ません。
②ビットレート（圧縮比率）：「決定」ボタンを押すごとに圧縮率が切替えられます。
96kbps → 112kbps → 128kbps → 192kbps → 256kbps → 320kbps
この数値が大きいほど、音質はよくなりますが変換後のファイルサイズは大きくなります。
③ID3 TAG 式ファイルを作成します。（する / しない）
④録音先メディアの検出状態を表示します。
⑤選択されたファイルの総数
⑥選択されたファイルの総再生時間

注：**すべてのファイルやメディアの再生を保証するものではありません。**

メディア／ファイルについて

■音楽再生・動画再生・画像（写真）再生について

＊デジタル著作権管理（DRM）されたファイルは再生できません。
※DRM とは、デジタルデータとして表現されたコンテンツの著作権を保護し、その利用や複製を制御制限する技術の総称です。音声・映像ファイルにかけられる複製の制限技術などが有名ですが、広義には画像ファイルの電子透かしなども DRM に含まれます。

＊音楽再生は、MP3/WMA（DRM 非対応）形式のファイルをパソコンから転送時に、専用ソフトを使って独自の暗号化（著作権保護）を施すもので使用されるファイルを入れた USB メモリや SD カードは本製品では再生できません。
例：アップル社製「iPod」シリーズ・ソニー社製「ウォークマン」シリーズ
　　パナソニック社製「D-snap オーディオ」シリーズ・JVC 社製「アルネオ」シリーズ　など

＊MP3/WMA 形式ファイルは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状況により音飛びが発生したり、再生できないことがあります。

＊動画再生は、MPEG2 対応のファイル形式でもすべての再生を保証するものではありません。記録条件や記録状況によっては再生できない場合があります。

＊MPEG-4,AVC 形式のファイルは再生できません。

＊画像再生は、JPEG 形式のファイル＜.jpg＞の再生ができます。ビットマップ＜.bmp＞や TIFF（.tif）など他の形式のファイルは再生できません。
※JPEG とは静止画像のデジタルデータを圧縮して保存する方式のひとつで、JPEG ファイルは＜.jpg＞という拡張子が付いたファイルのことを指します。

＊画像ファイルのサイズやファイルの構造により、ディスプレイ画面に表示されるまでに時間がかかることがあります。

＊フォルダ名・ファイル名・データ名の表示は英数字のみに対応しています。日本語で保存されたフォルダ名やデータ名は正しく表示されず、文字化けする場合があります。

■外部メディア（SD カード・USB メモリ）について

＊すべての SD カードおよび USB メモリについての作動について保証はしていません。

＊容量 16GB を超える SD カードおよび USB メモリは本機では認識しない、または誤作動を起こす場合があります。

＊SD カードおよび USB メモリは、記録された順序で再生できないことがあります。また記録状況により音飛びが発生したり、再生できないこともあります。

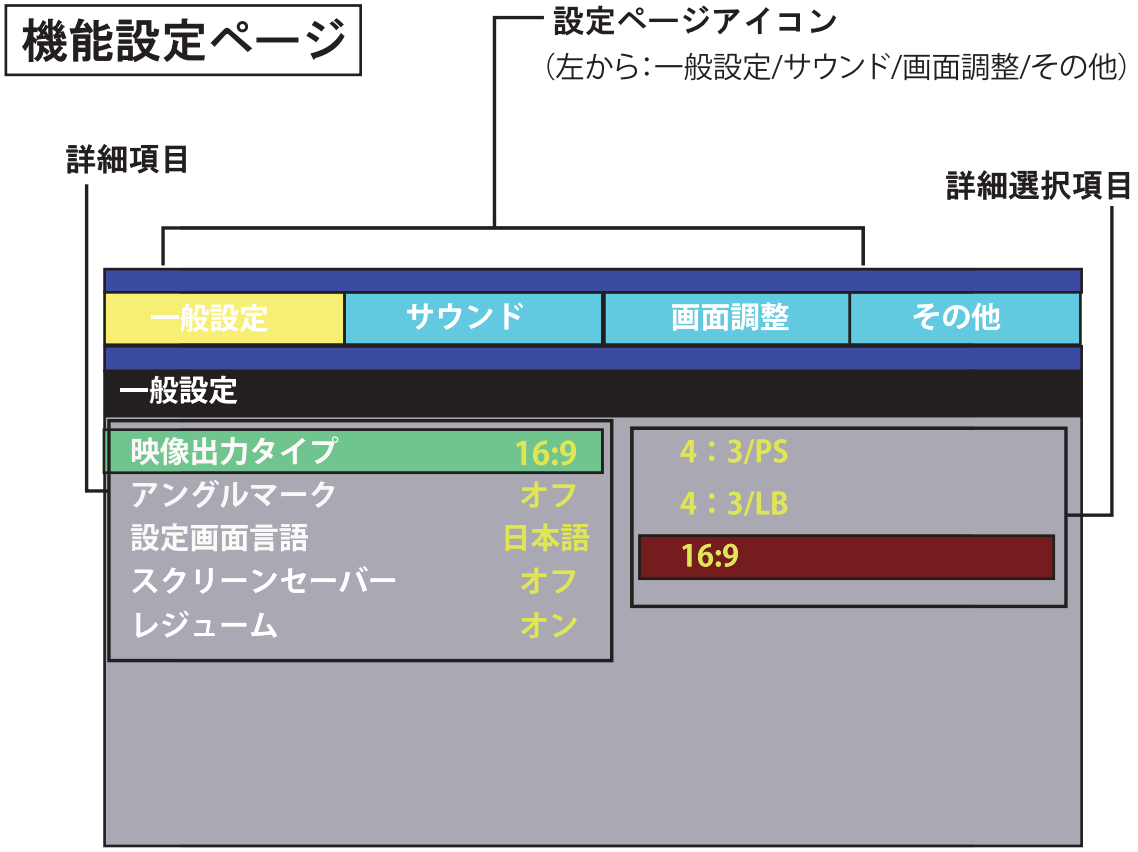
＊マッキントッシュで編集された SD カードおよび USB メモリには対応しておりません。

注：**すべてのファイルやメディアの再生を保証するものではありません。**

機能設定

DVD モードのオープニング画面時

本機では、画質や音声など、各種詳細項目を設定することができます。
必要に応じて変更してください。



機能設定の方法

1. リモコンの設定ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。
2. 設定ページ → 詳細項目 → 詳細選択項目 の順に選択し、決定していきます。
3. リモコンの方向ボタン▲▼◀▶を押して、設定を変更したいページや項目を選択し、決定ボタンを押して決定します。
4. リモコンの設定ボタンを押して、設定を終了します。

※：機能設定ページの「その他」タブは、本機にDVDディスクをあらかじめセットしていないと機能が有効になり選択できません。

機能設定

設定項目は以下の通りです。

設定ページ	詳細項目
一般設定	映像出力タイプ アングルマーク 設定画面言語 スクリーンセーバー レジューム
サウンド	デュアルモノラル ダイナミックレンジ
画面調整	鮮明度 明るさ コントラスト 彩度 色調
その他	音声設定 字幕設定 メニュー言語 設定初期化

一般設定　（初期設定は※印の設定になります）

■映像出力タイプ（画面のサイズ・比率の設定）

1、4：3/PS
2、4：3/LB
3、16：9※

■アングルマーク

1、オン※
2、オフ

■設定画面言語

1、英語
2、日本語※

■スクリーンセーバー

1、オン※
2、オフ

■レジューム

1、オン
2、オフ※

サウンド

■デュアルモノラル

1、ステレオ※
2、モノラル左
3、モノラル右
4、ミックスモノラル

■ダイナミックレンジ

1、FULL※～3/4～1/2～1/4～OFF

機能設定

画面調整

■鮮明度
1、高
2、中※
3、低

■明るさ※00
－16～＋16

■コントラスト※00
－16～＋16

■彩度※00
－9～＋9

■色調※00
－9～＋9

その他

■音声設定（再生時の音声の設定）
1. フランス語　2. スペイン語　3. 中国語　4. 日本語※
5. 韓国語　6. ポルトガル語　7. ロシア語　8. タイ語
9. 英語

■字幕設定（再生時の字幕の設定）
1. 英語　2. フランス語　3. スペイン語　4. 中国語
5. 日本語※　6. 韓国語　7. ポルトガル語　8. ロシア語
9. タイ語　10. オフ

■メニュ言語（ディスクメニュー画面の言語の設定）
1. 英語　2. フランス語　3. スペイン語　4. 中国語
5. 日本語※　6. 韓国語　7. ポルトガル語　8. ロシア語
9. タイ語

■設定初期化
実行※リセット
（視聴制限以外の設定が工場出荷時の設定になります。）

地上デジタル放送の視聴

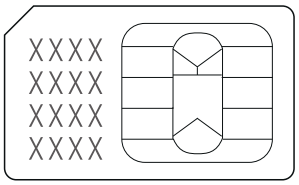
miniB-CAS カードを挿入する

地上デジタル放送の受信には、本機に miniB-CAS カード（付属）の常時挿入が必要です。
本機に miniB-CAS カードを挿入されていない場合は、地上デジタル放送の視聴はできません。

miniB-CAS カード



ラベル側（表）



端子側（裏）

〇ご注意ください

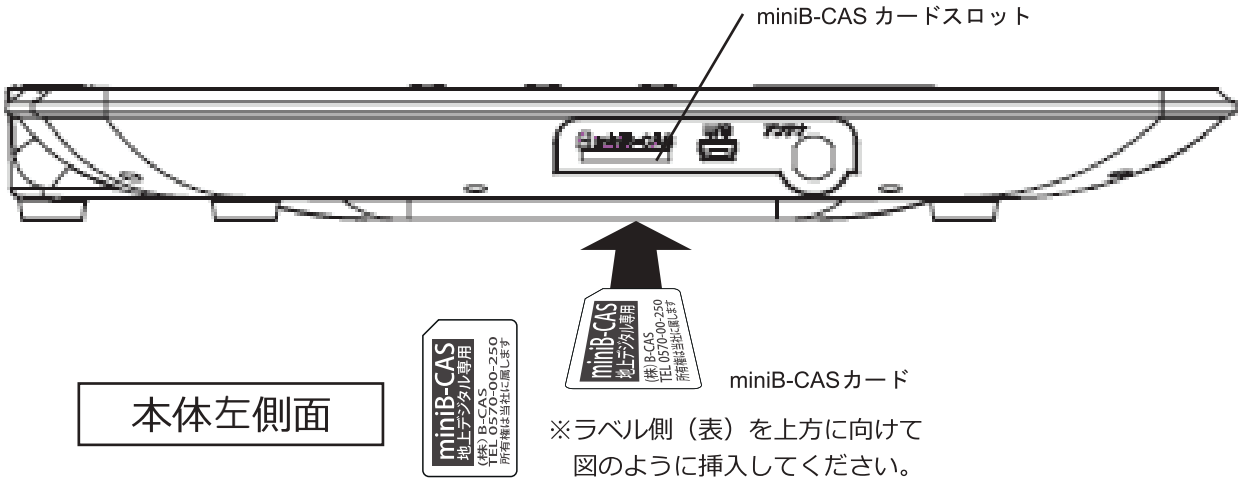
※AC アダプターが接続されていない状態で行ってください。
※SD カードスロットには、miniB-CAS カードを入れないでください。取り出せなくなります。
※miniB-CAS カードスロットには、miniB-CAS カード以外は絶対に挿入しないでください。

■挿入の方法

① miniB-CAS カードを、本体側面の miniB-CAS カードスロットに
端子側が下方へ向くようにして「カチッ」と音がなる奥までまっすぐに押し込んでください。

② miniB-CAS カードを取り出す際は、カードの中央部を押し、まっすぐに引き出してください。

※ miniB-CAS カードの挿入 / 取出しをする時は、急に指を離さないでください。



※miniB-CAS カードの取り扱いにつきまして詳しくは、miniB-CAS カードの封入用紙をご覧ください。
※miniB-CAS カードの故障、破損、紛失などの問い合わせは
㈱ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　　B－CAS カスタマーセンター

地上デジタル放送の視聴

地デジ放送受信用アンテナを接続する

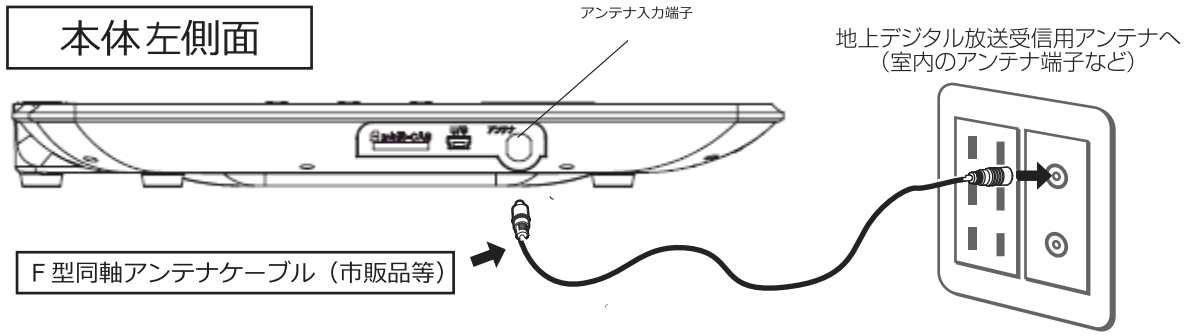
本機で地上デジタル放送を視聴する際は、地デジ放送受信用アンテナとの接続が必要です。
（室内用アンテナや付属の簡易アンテナなど）

■屋内で地デジ放送を視聴する場合 ...

！重要！
屋内などで地デジ放送をご視聴される場合、室内用アンテナ（市販品等）などと接続してください。下記は TV アンテナが室内に引き込まれている場合の接続方法の記載例です。

<ご用意いただくもの>

・F 型同軸アンテナケーブル（市販品等）
※お部屋の設置場所により必要な長さを測り電気店などでお買い求めください



※接続作業は本機の主電源を OFF にして行ってください。
※市販されている汎用アンテナケーブルの F 型コネクタの形状は、
ネジタイプと差し込みタイプがあります。コネクタの形状に合わせて接続してください。

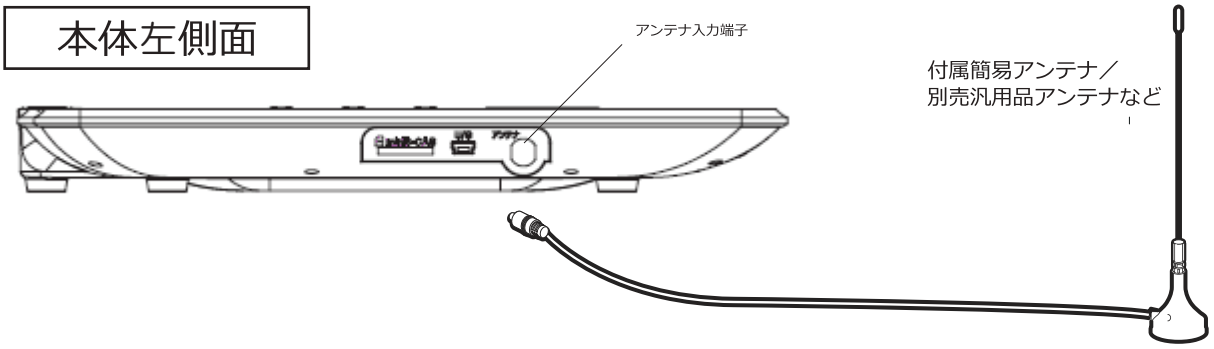
- 屋内で地デジ放送を受信する場合は室内用の地デジ受信アンテナ（市販品等）などと接続してください。
- 地域や場所、周辺環境により受信状態が悪くなったり全く受信できないことがあります。
- 簡易アンテナで地デジ放送を視聴される場合、受信できない場所や受信が不安定になる場所があります。
- UHF アンテナが設置されていても、状況によってはアンテナの交換やアンテナ方向の修正が必要になる場合があります。
- アンテナ線を他のデジタル機器に近づけないでください。受信障害の原因となる場合があります。
- UHF アンテナは定期的に点検してください。屋外設置の場合、傷みなどで受信力が低下する場合があります。
- 地上デジタル放送は一般的に UHF アンテナで受信しますが、CATV（ケーブルテレビ）で伝送される場合や共聴システムで伝送される場合もあります。詳しくは共聴システム管理者（マンション管理者や管理組合など）やお住いの地域のケーブルテレビ会社にお問合せください。
- 混合器・分波器・分岐器・ブースターなどを使用する場合は、地上デジタル放送の伝送チャンネルに対応したものをお選びください。

地上デジタル放送の視聴

■簡易アンテナで地デジ放送を視聴する場合 ...

<ご用意いただくもの>

・付属簡易アンテナや車載用ブースター内蔵アンテナ（市販品等）など



※接続作業は本機の主電源を OFF にして行ってください。
※付属の簡易アンテナは F 型のコネクタ形状タイプを採用しております。
※別売汎用品の車載用アンテナなどをご使用される場合は、アンテナ接続部分の形状をご確認ください。

！重要！
製品に付属されているアンテナは簡易的なもので室内用アンテナやブースター内蔵アンテナなどと比較すると受信力が低いため、特に屋内や移動時では電波が受信できない場合があります。この際は市販の汎用品アンテナをご用意の上、本機と接続してご使用ください。

- 屋内で地デジ放送を受信する場合は室内用の地デジ受信アンテナ（市販品等）などと接続してください。
- 地域や場所、周辺環境により受信状態が悪くなったり全く受信できないことがあります。
- 簡易アンテナで地デジ放送を視聴される場合、受信できない場所や受信が不安定になる場所があります。
- UHF アンテナが設置されていても、状況によってはアンテナの交換やアンテナ方向の修正が必要になる場合があります。
- アンテナ線を他のデジタル機器に近づけないでください。受信障害の原因となる場合があります。
- UHF アンテナは定期的に点検してください。屋外設置の場合、傷みなどで受信力が低下する場合があります。
- 地上デジタル放送は一般的に UHF アンテナで受信しますが、CATV（ケーブルテレビ）で伝送される場合や共聴システムで伝送される場合もあります。詳しくは共聴システム管理者（マンション管理者や管理組合など）やお住いの地域のケーブルテレビ会社にお問合せください。
- 混合器・分波器・分岐器・ブースターなどを使用する場合は、地上デジタル放送の伝送チャンネルに対応したものをお選びください。

地上デジタル放送の視聴

■テレビ放送を視聴する

テレビ放送画面への切り替え・視聴・操作・設定は付属のリモコンを使用すると便利です。
以下は主にリモコンを使用して操作・設定する方法を説明します。

1. テレビ画面への切替え

本体またはリモコンの機能切替ボタンを押すと「DVD」→「TV」→「AV」の順に切り替わります。
「TV」を選択するとモニターに [Loading...] の画面が表示されます。
（数秒後に消えます）

2. 放送局を本機に設定・登録する

本機ではじめて地上デジタル放送を受信する時や、設置場所を移動して受信放送局（電波地域）が変わった時は、本機にご使用地域の放送局チャンネルを登録する必要があります。以下の順に登録作業を行ってください。

！重要！
製品に付属されている簡易アンテナは**屋外用**の簡易アンテナです。チャンネル局数の登録漏れなどを防ぐため、初期チャンネル登録設定の作業を行う際は室内用アンテナとの接続の上、設定・登録してください。　※アンテナとの接続方法は P31 ～ P32 をご参照ください。

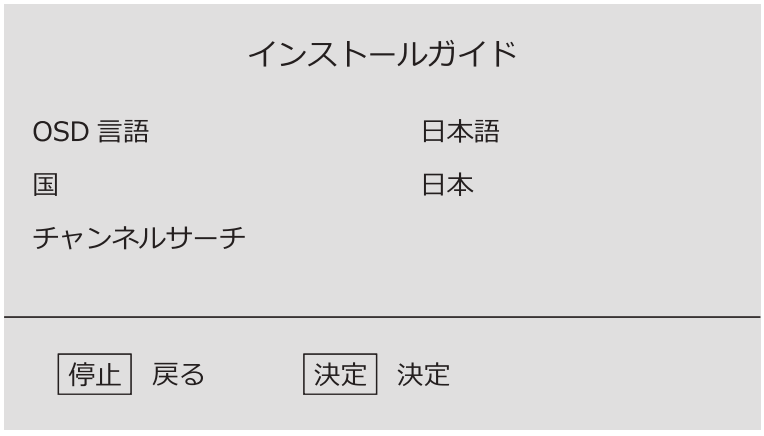
①本機の主電源が OFF の状態で「miniB-CAS カード」「地デジ受信用アンテナ」をそれぞれ正しくセットします。（P30 ～ P32 をご参照ください）

②本機右側面の主電源を ON にします。

③リモコン上部の機能切替ボタンを押し「TV」モードに切り換えます。

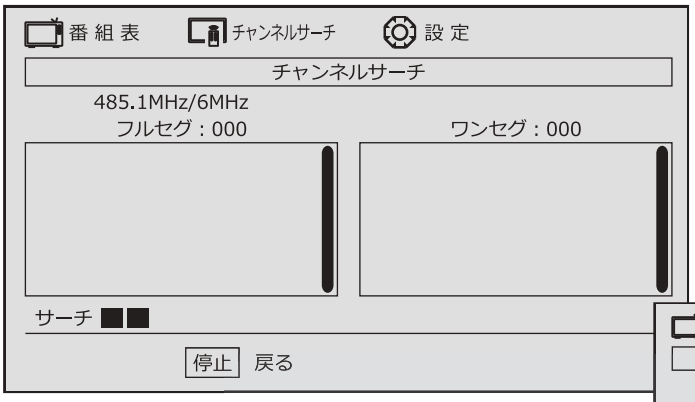


④初期起動時は下記の画面が表示されます。OSD 言語／国が「日本」であることを確認して、リモコンの決定ボタンを押します。

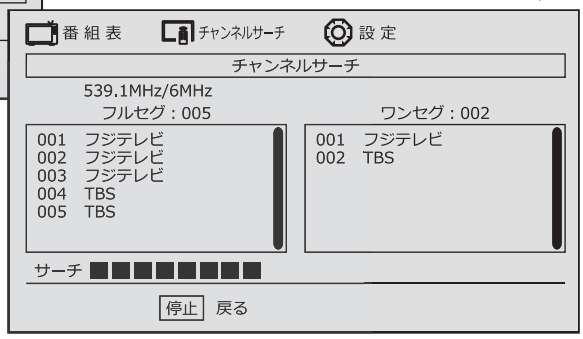


地上デジタル放送の視聴

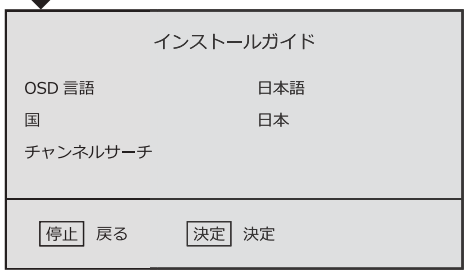
⑤下記画面に切り換わりチャンネル自動検索（チャンネルサーチ）が始まります。
電波を受信／登録できる周波数帯を全て検索する為、暫く時間がかかります。



※
本機と接続したアンテナが電波を受信し、登録できたチャンネルは下図のようにフルセグ／ワンセグの項目に追加されていきます。



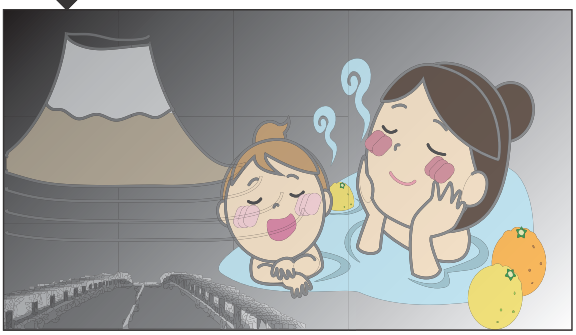
番組登録が失敗した場合



※
初期設定時で電波を受信できずにチャンネル登録が失敗した場合、上記画面（インストールガイド）に戻ります。
下記をご確認の上、再度チャンネルスキャンを行なってください。

＊本機に正しく B-CAS カードが挿入されてますか？
＊本機と接続しているアンテナが地デジ放送の電波を受信できていますか？
（アンテナの設置位置などをご確認ください）

本機に番組が登録された場合



※
チャンネルサーチ終了後、番組の登録が成功すると、登録された番組が表示されます。
電波の受信レベルに応じてフルセグ放送及びワンセグ放送のいずれかが表示されます。

重要：マンション等共同アンテナの使用やケーブルTVをご加入などの場合は本機に直接テレビ信号（電波）が届いていない場合があります。その場合詳しくは管理者や契約先にお問い合わせください。分波、分配、増波が必要な場合がございます。

地上デジタル放送の視聴

簡易アンテナなどを使用してチャンネル登録作業を行い、電波を受信できずにチャンネルの登録がされなかった場合、
「インストールガイド」画面が表示されます。
この場合、作業を行った時のアンテナの設置場所では電波を受信できていない・または電波が微弱である可能性が高いため、屋外の電波受信の環境が良好な場所（周囲に高層ビルなどがない開けた場所など）に移動した上で、再度「決定ボタン」を押し、放送局の検索をしてください。

※チャンネル局数の登録漏れなどを防ぐため、初期チャンネル登録設定の作業を行う際は室内用アンテナなどとの接続の上、設定・登録してください。

＜本機の設置場所を移動した場合＞

転居や長距離移動などで、初期設定した地デジ放送の環境から本機を移動させた場合、再度チャンネルスキャンを行い、移動した地域の放送番組を登録する必要があります。
この場合、本機を TV モードに切り換えた後、
リモコンの「 サーチ」ボタンを押すと、
自動でチャンネルスキャンが始まります。



※チャンネル検索を行う毎に、先に登録されていたチャンネルは上書きされていきます。先に登録されていたチャンネルデータの保存はできませんので、ご注意ください。

※アンテナの設置状況や簡易アンテナなどとの接続により電波状況が悪い場合、映像や音声が止まったり乱れたりする場合があります。その際はアンテナの設置環境などを変えて再度お試しください。

※本機は自動受信に設定されている時、地上デジタル放送（フルセグ）受信が優先設定になっています。受信状況が不安定になると自動的にワンセグ放送に切替わります。その際、一時的に映像・音声がフリーズ状態になりますが故障ではありません。

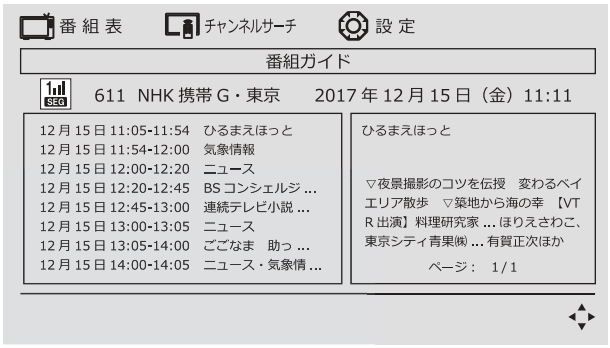
地上デジタル放送の視聴

お好みでテレビ視聴時の各種設定を変更／調整いただけます。

■リモコンの「メニュー」ボタンを押すとメニュー画面が表示されます
「◀ ▶ ▲ ▼」ボタンで設定したい項目にタグを移動して「決定」ボタンを押します

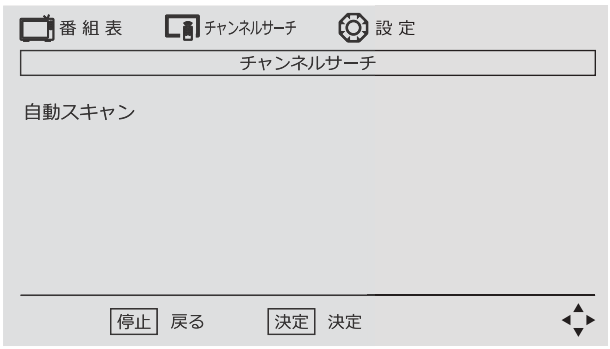
●【番組表】を選択すると視聴中の番組の番組表が表示されます
（番組視聴中にリモコンの「プログラム /EPG」ボタンを押しても番組表が表示されます）





●【チャンネルサーチ】を選択するとチャンネル自動検索を開始します。

（リモコンの「USB/SD/ サーチ」ボタンを押しても自動検索を行えます）



●【設定】を選択すると地デジ放送視聴時の各種設定を変更／調整できます。



■解像度／解像度を変更します
（480i ／ 480p ／ 720p ／ 1080i ／ 1080p）
※初期値は 1080p

■受信切替／受信方法を変更します （自動／ワンセグ／フルセグ）※初期値は自動）

■工場出荷時設定／工場出荷時の初期設定に戻します （[決定]: スタート／ [停止]: 戻る）
※工場出荷時状態に戻すとお客様が登録した情報は全て消去されます

■デバイス情報／本機システム情報を表示します

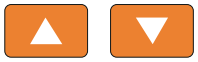
■ファームウェア更新 （※メンテナンス・サポート用に付き、通常お客様は使用しません）

地上デジタル放送の視聴

■リモコンの主な基本操作

1. チャンネルを選択する

「CH▲」「CH▼」ボタンを押します。



2. 音量を調整する

「音量 +」「音量 -」ボタンを押します。



3. 音声多重切替え　※放送番組や内容により非対応の場合があります。

ステレオ音声で二ヶ国語を切替えます。
リモコンの「音声」ボタンを押します。
画面表示されたらお好みの言語に変更してください
※放送内容や番組によって無効になる場合があります。



4. 字幕放送　※放送番組や内容により非対応の場合があります。

デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなどが表示されます。
リモコンの「字幕」ボタンを押します。



5. 番組表

番組の情報が表示されます。
1. リモコンの「EPG」ボタンを押します。
2. リモコンの「▲」「▼」ボタンで番組を選ぶと右側の窓に番組情報が表示されます。番組情報のページを変える時はリモコンの「◀」「▶」を押します。
3. リモコンの「停止」ボタンを押すと前の画面に戻ります。



6. 受信状況確認

リモコンの「設定」ボタンを押すと、受信中の本機の状態などをご確認いただけます。
1. リモコンの「設定」ボタンを 1 度押すと右上に受信中のチャンネル番号／下部に帯で受信中の番組名などが表示されます。
（※チャンネル番号や帯状の表示は暫くすると消えます）
2. リモコンの「設定」ボタンを 2 度押すと受信中の放送番組の詳細やアンテナ受信レベルなどが表示されます。
（※ワンセグ放送受信中は番組情報は表示されずスキャン中と表示されます）
3. リモコンの「停止」ボタンを押すと視聴中のテレビチャンネルに戻ります。



地上デジタル放送の視聴

■本体設定

メニュー

停止

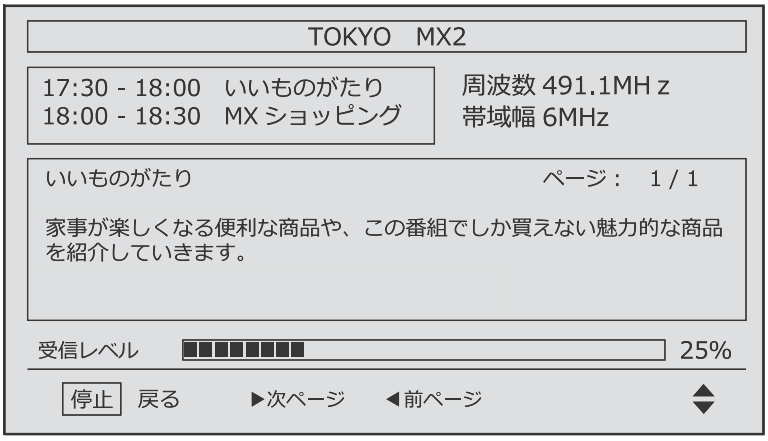
液晶画面の解像度や、ワンセグ／フルセグの受信の優先度などを
お好みな状態に変更できます。
（※詳しくは P36 をご参照ください。）

！こんな症状の時は ...（画面がチラつく・映像が止まる・音しか出ない・etc）

番組を視聴中、「映像が止まる」「音声が出ない」「音声が途切れる」など、受信が安定しない場合や受信できない場合は下記事項をご確認ください。

電波の受信レベルをご確認ください

■TV 番組を視聴（受信）中に、リモコンの「設定」ボタンを 2 度押すと、下記のような画面が表示されます。受信レベルが安定しているかをご確認ください。



受信レベルが低い状態（約 20%以下）の場合、番組を安定して視聴できない場合があります。簡易アンテナなどを使用して視聴している場合は受信レベルが 30%以上で安定する場所に簡易アンテナなどを設置してください。　（※推奨受信レベル：50%以上）

フルセグ受信レベルが低い場所でご利用されると自動でワンセグ受信に切り換わる為、フルセグ⇔ワンセグの切換時に都度画面がフリーズなどを起こす場合があります。この場合、受信切替をワンセグに変更することでワンセグ受信に固定されます。
（リモコン「メニュー」→「◀ ▶」で設定に移動→「決定」→「▲▼」で受信切替に移動して [ワンセグ] を選択→「決定」）（※初期値は [自動] に設定されています）

※アンテナが正しく接続されていない場合、受信／視聴はできません。
※建造物、地下、トンネル、移動中の乗り物内、電波塔の無い地域、地形、強力な電波を発信する施設の周辺、電波障害を受けやすい場所、など電波の受信に影響が出やすい場所では、受信できない場合があります。
※デジタル放送では受信レベルが下がると、映像が止まる、ブロックノイズが出る、音声しか出ない、音声が途切れる、などの症状が起こる場合があります。また、移動中に受信している場合は、静止中の受信に比べ受信範囲が狭くなるため、正しく受信出来ない場合があります。
※次の放送は受信／視聴できません。<地上アナログ放送> <BS/CS 放送> <データ放送> <緊急警報放送>
※放送エリアの目安は、社団法人デジタル放送推進協会のホームページをご参照ください。
※その他の症状が起きた場合は、本書巻末のトラブルシューティングをご参照ください。

録画機能を使う　　録画番組機能について

録画機能をご利用いただく前に、下記をよくお読みになり正しくご理解の上、ご利用ください。

■本機は＜シングルチューナー＞搭載モデルです。裏番組録画機能（視聴中の番組以外の番組を録画する機能）はありません。
■本機には録画用ディスク（メモリー）は内蔵されておりません。録画機能をご利用になる場合は、市販品の USB メモリー等を別途ご用意ください。（地デジ録画用スロット：USB メモリー：容量 256GB まで動作確認済／外付け HDD：500GB まで動作確認済）
（※データ転送方式が 2013 年現在の規格から変更された HDD では使用できない場合があります。）
■本機搭載の USB スロットで読込み可能なファイルシステム（ディスク形式）は【FAT32 形式】にフォーマットされたディスクの読込みが可能です。exFAT 形式等には対応しておりません。特に大容量のメモリーや HDD をご使用される場合はファイルシステム形式をご確認いただき、本機非対応形式の場合はパソコンなどで形式変更してからご使用ください。
■本機に録画用として装着する USB メモリー等は、事前に試し録画を行い、正常に動作するかお確かめください。
■本機で録画したデータは MTS ファイル（拡張子 .mts）として保存されます。
■録画機能は入力ソースが「DTV（テレビモード）」でのみ利用可能です。録画機能を利用する際は入力ソースを外部入力に変更しないようにご注意ください。特に録画の予約を設定している場合、外部機器を利用中に録画予約を設定した時刻がきても、入力ソースは自動変更されない為、録画機能は実行できません。
■録画中に入力ソースを外部機器入力に切り換えると、システムが切り換わる為、録画が途中で強制終了します。
■録画中は、録画中のチャンネル以外の番組への切換えなどの操作はできません。
■何らかの理由（主電源が切れた、電波が途切れた、など）で録画が中断した場合、データが破損して再生できない場合があります。
■番組ガイドは約 8 日後まで取得できます。番組ガイドで表示できない先の日付を予約する場合は指定録画で日付指定をしてください。
■同じ時間帯に重複した番組を録画することはできません。
■本機で録画したデータはその他の再生機器では再生できません。また本機で録画したデータは本機でのみご視聴ください。
■コピー禁止の番組や、外部機器（DVD プレーヤーなど）からの入力データを記録（録画）することはできません。本機で受信したテレビ放送の番組のみ録画が可能です。
■著作権保護の為、本機で録画したデータの移動やコピーは絶対に行なわないでください。
■故障などの理由で本機を修理や交換した場合、以前に記録した録画データは視聴できなくなる場合があります。予めご了承ください。
■本機で録画した録画データは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内でお楽しみいただく以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。録画データを個人または家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内でお楽しみいただく以外に、許諾なく複製や改変をしたり、インターネットなどで送信や掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
・録画した番組を自分のホームページや SNS などに載せる　・録画した番組をメールなどで他人へ送る
・録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸し出す
■著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので、自己責任のもとでご利用ください。なお著作権法違反によって生じた損害などに関して、当社は一切の責任を負いません。

⚠ 注意　※録画機能をご利用になる場合、録画用として別途市販などの USB メモリーや HDD が必須です。
録画用メモリーが正しく装着されていない場合、録画機能は利用できません。

⚠ 注意　※外部メディア（USB メモリーや HDD など）はメーカーや型式によっては読み込まない場合があります。
この場合、他メーカーや型式のメディアで読込み可能かをお確かめください。
※外部メディアについての作動保証およびサポートは行っておりません。予めご了承ください。

録画機能を使う　　録画外部メモリーの準備

録画機能を使用する場合、市販の USB メモリーや USB 外付け HDD が別途必要です。
電気店などで別途ご購入の上、ご用意ください。

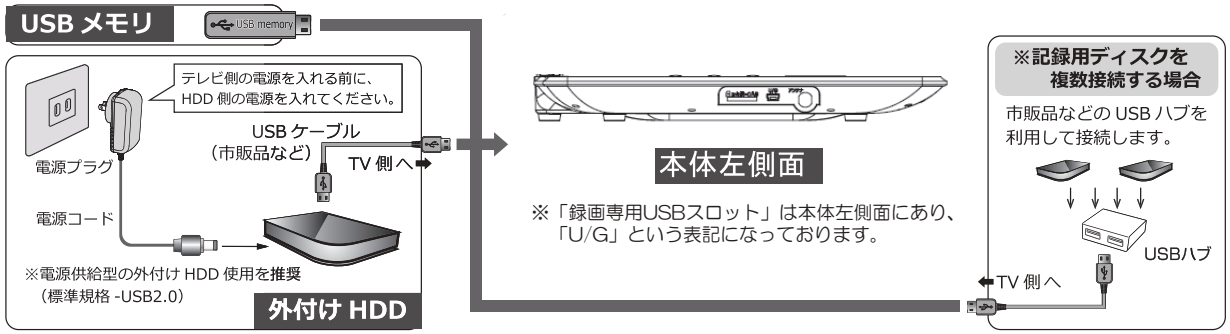
●別途必要なもの：□USB メモリーや外付け HDD などのデータ記憶装置
＊外付け HDD は次のものを推奨：●電源供給型　●標準規格 -USB2.0　●容量：～ 500GB

＜大容量メモリー（32GB 以上）をご利用される場合＞

■本機の USB スロットで認識可能なファイルシステムは【FAT32 形式】にフォーマットされたディスクの読込みが可能です。大容量タイプのメモリーや HDD の場合、購入初期時のファイルシステムが exFAT 形式や NTFS 形式であることが多い為、ディスク購入後すぐに本機と接続しても正常に認識しない場合などがあります。この場合は、パソコンなどで、購入されたディスクのファイルシステムを FAT32 形式にフォーマットしてから本機と接続してください。（HDD のフォーマット等につきましては各 HDD 製造メーカー等にお問合せください）

接続のしかた

本機側面の「録画用 USB スロット」に USB メモリーや HDD を接続します。



お知らせ

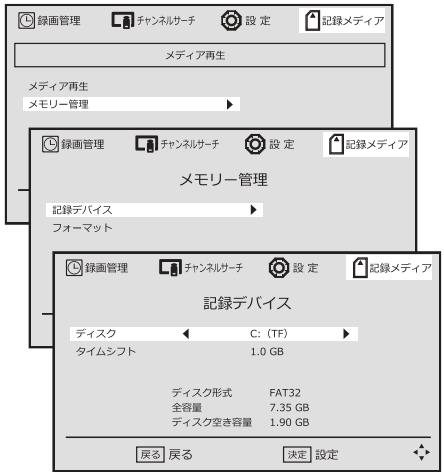
- USB ハブを使用することで、同時に 2 台までのディスクの接続が可能です。
- 外付けディスクをフォーマットする時は、必ずテレビと 1 対 1 で接続してください。
- 本機に接続する外付けディスクのメモリー容量は、500GB までのディスクを推奨いたします。

⚠ 注 意

※録画用スロットに正しく装着してください。
（データ再生用スロットに装着しても地デジ録画機能は利用できません）
※パソコンなどその他の機器で使用していたUSB メモリー等 を本機で使用した場合、
保存していたデータなどは消去される場合があります。
※本機で録画保存したデータは他の機器で視聴・再生は行わないでください。

メディアの状態を確認する

下図を参照に、装着した 録画用メモリーの状態が確認できます。



① リモコンの「設定」を押して設定メニューを表示します
②「◀」「▶」で記録メディアにカーソルを合わせます
③「▲」「▼」でメモリー管理にカーソルを合わせて「決定」を押します
↓（メモリー管理画面に移行）
④「▲」「▼」でカーソルを記録デバイスに合わせて「決定」を押します
⑤ 記録デバイスの状態が表示されます
⑥「▲」「▼」「◀」「▶」で各カーソル移動／
「決定」で各項目を設定／「戻る」で前の画面に戻ります

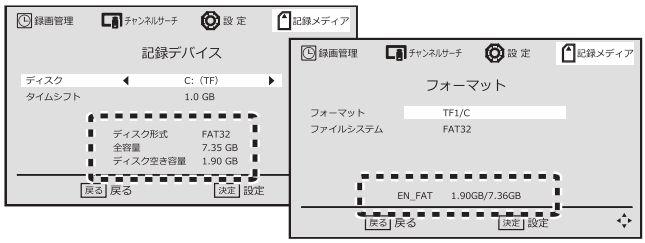
・タイムシフト：タイムシフト機能に割り当てる容量を設定します
（タイムシフト機能については P24 ～をご参照ください）

＊「正しく録画用メモリーを装着していない」「本機で認識できていない」場合、
「メモリーデバイスがありません」と表示されます

録画機能を使う　録画用外部メモリーの準備

メディアの状態を確認する（続き）

装着した録画用メモリーが正しく認識されない場合、下記ご確認ください。



① メモリー管理画面から、
＜記録デバイス＞または＜フォーマット＞に移行。

② 枠内の情報を確認してください。

※点線枠内に現在装着中の録画用ディスクの状態が
表示されます。

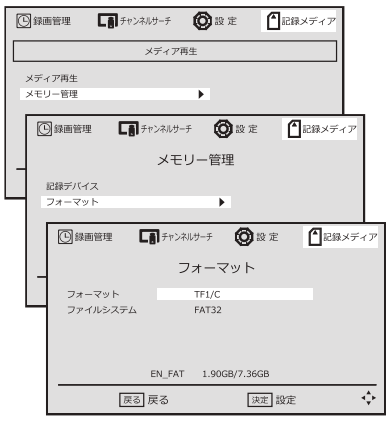
＊本機で読込み可能な形式のディスクの場合、＜ディスク形式＞ ＜ディスク全容量＞ ＜ディスク空き容量＞が正しく表示されます。
（※FAT16 形式の場合、ディスク形式などは表示されますが、本機では非対応形式の為、使用することはできません）
（※exFAT 形式の場合、＜ディスク形式：NTFS＞ ＜ディスク全容量：0MB＞ ＜ディスク空き容量：0MB＞などと表示され正しく認識できず使用できません。

⚠ 注 意

■ファイルシステム形式にご注意ください。（非対応形式のディスクは読み込みできません）
■地デジ録画機能を使用する際はディスク空き容量にご注意ください。
※ディスク空き容量が少ない場合、録画の予約ができません。また予約を設定して予約時間になった状態で
ディスク空き容量が足りない場合、予約はキャンセルされて録画されません。
※ディスク空き容量が 10MB を切ると全ての録画機能が使用できなくなります。この場合は「新しいメモリ
などを別途ご用意いただく」「装着しているカードを再度フォーマットする」などしてディスクの空き容量
を確保してください。　（＊ フォーマットは実行後、以前のデータが全て消えます）

録画用メモリーをフォーマットする

下図を参照に、録画用メモリーを FAT32 形式にフォーマットします。



① リモコンの「設定」を押して設定メニューを表示します
②「◀」「▶」で記録メディアにカーソルを合わせます
③「▲」「▼」でメモリー管理にカーソルを合わせて「決定」を押します
↓（メモリー管理画面に移行）
④「▲」「▼」でカーソルをフォーマットに合わせて「決定」を押します
↓（フォーマット画面に移行）
⑤「決定」を押すと最終確認が表示されます
⑥「決定」で初期化／「戻る」で初期化をキャンセルします

＊「正しく録画用メモリーを装着していない」「本機で認識できていない」場合、
「メモリーデバイスがありません」などのエラーが表示されます

⚠ 注 意

※フォーマットを実行すると、カード内に保存していたデータは全て消去されます。カード内に必要なデータが
ある場合、フォーマット実行前にパソコンやその他のメモリーなどに移動・保管してください。
（データ消去等などによる損害などについて当社は一切その責任を負いません）

容量と録画時間

本機で地デジ番組を録画する場合の大まかな目安です。

フルセグ録画	＊番組データ 1 秒あたり約 1.7MB の場合　≒　容量 1GB あたり約 10 分間録画可
	空き容量 15GB の録画用メモリーを使用すると、合計約 2.5 時間分の番組を録画可
ワンセグ録画	＊番組データ 1 秒あたり約 0.04MB の場合　≒　容量 1GB あたり約 7 時間録画可
	空き容量 15GB の録画用メモリーを使用すると、合計約 100 時間（4 日分）の録画可

※大まかな目安です。放送番組のデータ量などにより変化しますので予めご了承ください。

⚠ 注 意

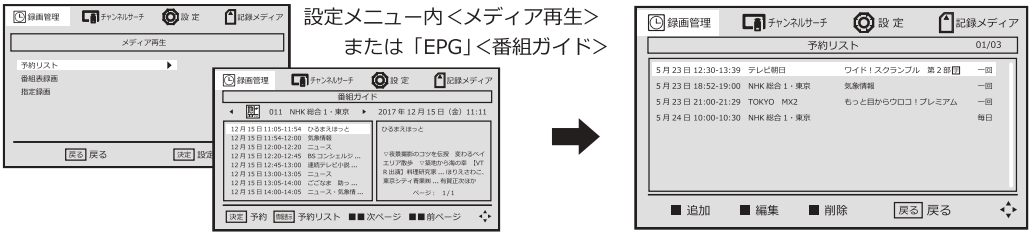
※外部メディア（USB メモリーなど）はメーカーや型式によっては読み込まない場合が
あります。この場合、他メーカーや型式の USB メモリーなど で読込み可能かをお確かめください。
※外部メディアについての作動保証およびサポートは行っておりません。予めご了承ください。

録画設定の優先順位について

録画機能の作動優先順位は以下の通りです。

「予約録画」 ＞ 「ダイレクト録画」（タイムシフト機能含む）

＊「予約録画」とは番組表録画および指定録画で録画の予約を設定したものを指します。
録画予約を設定した日時や番組は＜予約リスト＞から確認や編集ができます。



設定メニュー内＜メディア再生＞
または「EPG」＜番組ガイド＞

＊録画予約を設定すると予約の設定が最優先設定となります。予約を設定した日時になると、「ダイレクト録画」で録画中やタイムシフト機能を利用中でも、自動で予約設定したチャンネルに切り換わり録画が始まります。

⚠ **注 意** ※録画用メモリーの容量が一杯の場合は録画されませんのでご注意ください。

視聴中の番組を録画する（ダイレクト録画）

現在視聴中のテレビ番組を録画する方法です。



① 番組視聴中にリモコンの「録画」ボタンを押します。
② 画面中央に「レコーダー開始中、お待ちください」と表示後、録画が始まります。
③ 録画を停止する場合は、リモコンの「設定」または「停止」を押します。

＊ 録画用メモリーの空き容量が足りない場合、
「ディスク容量が満杯です、お待ちください」と表示され録画されません

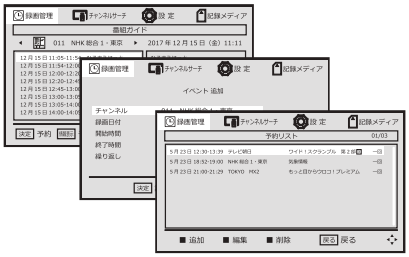
＊ 録画中は画面左上に「録画中」と点滅表示されます。

日時を指定して録画予約する（予約録画）



① リモコン「設定」を押して設定メニューを表示。
② 上段カーソルを「◀」「▶」で録画管理に合わせ「▲」「▼」で下段カーソルを指定録画に移動して「決定」。
③「▲」「▼」「◀」「▶」「数字ボタン」で予約録画したい放送局や日時を設定して「決定」。
④ イベント追加画面が表示されたら各項目を確認して「決定」。
⑤ 予約設定が成功すると予約リストが表示されます。
※予約リストが表示されたら設定を確認して「戻る」
※そのまま別の指定録画設定を行なう場合は「赤」
※リスト上の設定を編集したい場合はカーソルを合わせて「緑」
※予約設定を削除したい場合は予約項目にカーソルを合わせて「青」

番組ガイドから録画予約する（予約録画）



① リモコン「EPG」で番組ガイドを表示。
②「▲／▼／◀／▶／赤／黄」で予約したい番組名に移動して「決定」。
③ イベント追加画面が表示されたら各項目を確認して「決定」。
④ 予約設定が成功すると予約リストが表示されます。



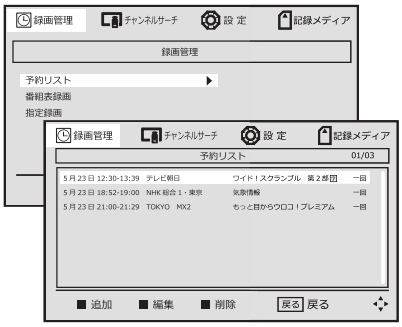
※＜設定メニュー＞ → ＜録画管理＞ → ＜番組表録画＞　で、
番組ガイドの表示や録画予約も可能です。

⚠ 注意　※番組ガイドから録画の予約を設定した後に番組の延長や中止などで放送時間が変更になった場合、本機では自動的に録画時間の延長や番組移動による予約時間の変更などは行なわれません。このような場合は予約リストから予約設定した時間帯を選択の上、手動で編集を行ってください。

（例）
10:00 ～ 11:00 までの放送局＜A＞の番組＜B＞を番組ガイドから予約
→前の放送が急遽 10:30 まで放送延長になった為、番組＜B＞は 10:30 からの繰り下げ放送になった
＊本機では予約時に設定した放送局＜A＞の 10:00 ～ 11:00 の放送が録画がされます

予約の確認・編集（予約リスト）

予約設定の確認や編集は予約リストから行います。



■予約リストを表示する
①リモコン「EPG」を押す（番組ガイド表示） → 「情報表示」を押す
②＜設定メニュー＞ → ＜録画管理＞ → ＜予約リスト＞を選択

■予約リストから確認や編集・削除などを行います。
＊「赤」：リスト外の他の日時指定予約を追加します
＊「▲」「▼」：リスト内のカーソルを移動します
＊「緑」：カーソルで選択した予約の設定を編集します
＊「青」：カーソルで選択した予約の設定を削除します
＊「戻る」：一つ前の画面に戻ります

録画したデータの再生・削除

録画したテレビ番組データの再生や削除する方法です。

■リモコン「録画リスト」を押すと
録画したデータのリストが表示されます。



■録画リストから再生や削除したいデータを選択・実行します。
＊「▲」「▼」：リスト内のカーソルを移動
＊「決定」：カーソル移動したデータを実行（再生）
＊「タイムシフト」：再生中データの一時停止／再生
＊「停止」：再生中データの停止
＊「◀◀」「▶▶」：再生中データの早戻し／早送り
（押すごとに x2→x4→x8→x16→x32→解除⏎）
＊「⏮」「⏭」：再生中データの前データへ／次データへ移動
＊「赤」：画面サイズの切換え（全画面表示⇔プレビュー表示）
＊「青」：再生データの再生開始時間の設定（Go to time 機能※）
＊「緑」：再生中データの手動コマ送り
＊「設定」：一つ上のフォルダへ移動
＊「戻る」：テレビ放送視聴に戻る

※Go to time 機能：録画データのスタート時間を指定して移動する機能です。
（例）録画時間 1 時間のデータで、40 分 10 秒後にスタート時間を指定して移動

＜録画データを削除する＞　■録画リスト内の削除したいデータにカーソルを合わせ「黄」を押します。
※「黄」を押すとデータ左側に☑が付きます
→ 「決定」を一度押すと削除するか選択画面表示（決定／戻る）
→ 決定を選択して「決定」を押すとデータ削除が実行されます

⚠ 注意　※一度削除したデータを復元することはできません。

タイムシフト機能を使う（便利機能）

＜タイムシフト機能とは ...＞

番組視聴中に「タイムシフト」を一度押すと押したところで放送が一時停止！停止した場面の続きから録画用メモリーに録画していきます。再度押すと一時停止した場面の続きから視聴しているように感じる機能です。

【こんな時に便利】 ・好きな番組を視聴中「ちょっと用足しに行かないと」...
・ドラマなどのクライマックスシーンで「宅配便で～す！」...

リモコン「タイムシフト」ボタンを押すと機能がスタートします

タイムシフト機能で使うリモコンボタンは「タイムシフト」「停止」「決定」「戻る」です。

＊タイムシフト機能の設定：

●機能で使うメモリー容量の設定：

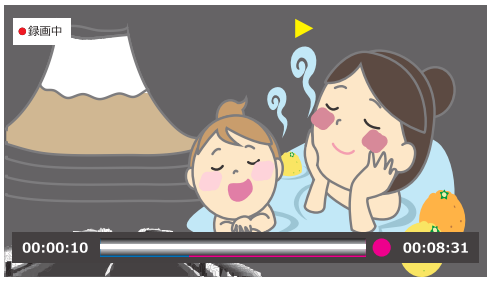
＜設定メニュー＞ → ＜記録メディア＞ → ＜メモリー管理＞ → ＜記録デバイス＞ → ＜タイムシフト＞

「◀／▶」（0.5GB ／ 1.0GB ／ 1.5GB ／ 2.0GB ／ 2.5GB ／ 3.0GB ／ 3.5GB ／ 4.0GB から選択）

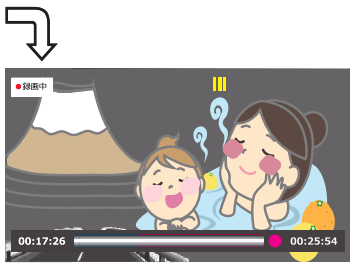
■番組視聴中に「タイムシフト」を押すと ...



放送が一時停止状態になり
・画面左上に＜録画中＞
・画面中央右に＜一時停止マーク＞



一時停止状態の続きからデータ再生
・画面左上に＜録画中＞
・画面中央右に＜再生マーク＞
・画面下部に＜再生／録画バー＞



放送が一時停止状態になり
・画面左上に＜録画中＞
・画面中央右に＜一時停止マーク＞
・画面下部に＜再生／録画バー＞

＊＜再生／録画＞ステータスバー



一時停止／再生 時間表示　　使用容量表示　　タイムシフト録画 トータル時間表示

＊トータル時間表示：録画機能スタートから現在までの時間を表示します
＊一時停止／再生時間表示：機能スタートから何秒 (分 / 時間) 後に一時停止したか、または再生しているかを表示します
＊使用容量表示：設定したメモリー容量の中で、録画で使用中の容量（赤）と再生して空いた容量（青）を表示します
※一時停止状態で放置しておくと青で表示されている空き容量がだんだん減っていきます
空き容量が無くなると続きからの放送視聴はできなくなります

■タイムシフト機能を終了する場合　：　リモコン「停止」→「決定」 で通常のテレビ視聴に戻ります。

⚠ 注意

※録画用スロットに録画用メモリーが正しく挿入されていない場合や本機が認識できない場合、ディスクの空き容量が少ない（10MB 以下）の場合、録画に関する機能を使用しようとするとエラー表示が出て設定ができません。（＜メモリー設備なし＞ ＜予約無効＞ など）
エラー表示の原因をご確認の上、再度設定を行なってください。

⚠ 注意

※外部メディア（USB メモリーや HDD など）はメーカーや型式などによっては認識されない場合があります。この場合、他メーカーや型式の外部メディアで読込み可能かをお試しください。
※外部メディアについての動作保証やサポートは行っておりません。予めご了承ください。

トラブルシューティング

故障かな？と思ったら ...

（サポート修理へお問合せの前に、下記および取扱説明書をよくお読みください）

・電源が入らない	●電源コンセント部が正しく接続されているか、ご確認ください。 ●本体の電源入力端子部が正しく接続されているか、ご確認ください。 ●充電池に充電されているか、ご確認ください。
・リモコンが機能しない	●リモコンと本機の間に障害物がないか、ご確認ください。 ●リモコンの電池が消耗している場合は交換してください。 ●リモコンの向きを本機の受光部に正しく向けて操作してください。
・画面が真っ黒のまま	●液晶画面がオフ設定になっていないか、ご確認ください。
・音声が出ない	●音量が最小になっていないか、ご確認ください。 ●消音（ミュート）機能を使用していないか、ご確認ください。 ●イヤホンなどの場合、正しく接続されているか、ご確認ください。
・画面が暗い ・色合いがおかしい	●設定ページから各種設定を調整してください。
・画面に斑点が映る ・色の縞が出る ・音声が乱れる　など	●高圧線や自動車、ネオン、他の電機機器からの電波 / 磁気障害が起きている可能性があります。本機を電波 / 磁気の影響の無い場所に移動して設置してください。
DVD・CD・メディア再生	
・ディスクの読み取り再生ができない ・「不明なディスク」と表示される　など	●ディスクに汚れや傷がないか、ご確認ください。 ●ディスクが正しくセットされているか、ご確認ください。 ●DVD・TV・AV などのモードが正しいか、ご確認ください。 ●本機対応のディスク・データであるか、ご確認ください。 （DVD のリージョンコードは 2 番です） ●外部機器などの場合、正しく接続されているか、ご確認ください。
・DVD レコーダー等で録画した DVD-R ディスクの再生ができない	●ビデオモードまたは CPRM 形式で録画した DVD-R ディスクを本機で再生するには、ファイナライズ処理が必要です。 ●ディスク記録時の安定度・状況・環境により、再生できない場合があります。 ●録画された DVD レコーダーとディスクと本機との互換性・相性により再生できない場合があります。 ●パソコンなどで録画されたディスクや短い収録時間のディスクは再生できない場合があります。
・再生中に電源が落ちる	●2 層式記録ディスク再生折り返し部分の仕様による場合があります。電源が落ちたチャプターの次のチャプターから再生できる場合がありますので、チャプター選択画面から指定して再生を続けてください。

トラブルシューティング

故障かな？と思ったら ...

（サポート修理へお問合せの前に、下記および取扱説明書をよくお読みください）

．再生中、一時的に映像が止まるなど	●デイスクに汚れや傷がないか、ご確認ください。 ●外部メディアの場合、保存データが破損／欠損している可能性があります。
・外部メディア（SD/USBなど）の再生ができない	●本機に正しく接続／挿入されているか、ご確認ください。 ●本機非対応の 保存データである可能性があります。 （詳しくは本書「メディア／ファイルについて」をご参照ください）
・CDが正しく再生されない	● コピーコントロールCDの可能性があり、再生できません。
・曲頭数秒再生されない	● コピーコントロールCDの可能性があり、データ通りに再生されない場合があります。
・トラックの順序／選曲ができない	●デイスク・USBメモリ・SDカードによっては、部分的に設定された再生順序を変更できないものがあります。

地デジテレビ視聴

・テレビが映らない ・　部チャンネルしか映らない ・映像が乱れる　など	●アンテナと正しく接続されているか、ご確認ください。 ●フルセグ受信機の場合、miniB-CASカードが正しく挿入されているか、ご確認ください。 ● TVモード画面 に切替えてあるか､ご確認ください。 ●初期設定でチャンネル登録がされているか、ご確認ください。
・視聴中の映像／文字情報／番組内の時刻表示がズレる	●デジタル放送特有の現象です。デジタルデータの受信形式のため、受信してから映像化されるまでの時差によって数秒程度ズレる場合があります。

その他

・作動中に電源が落ちて操作に反応しない	●本機の主電源を手動で切り、アダプターを電源コンセントから抜き2 ～ 3 時間放置して、静電気などを放電してください。その後再度本機を設置してお試しください。 （日頃本機をご利用にならない際は､ACアダプターはコンセントから外すようにお願いいたします）

液晶パネルについて

●液晶パネルは非常に高精度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するもがあります。予めご了承ください。

ブロックノイズについて

●DVD プレーヤーの演算処理能力を超えるときにブロックノイズが発生する場合があります。
ブロックノイズは DVD の映像記録方式（MPEG）の性質上、完全に除去することは非常に困難です。
また、DVD ディスクの記録面に傷や汚れがある場合、またはピックアップレンズが汚れている場合にもブロックノイズが発生する場合があります。ディスクやレンズの汚れは市販のディスククリーナーやレンズクリーナーなどを使用して汚れを取り除いてください。

コピーコントロール CD について

●CCCD（コピーガード付き CD）は、CD の標準規格に合致しておりませんので本機では再生できない場合があります。CCCD の再生について支障がある場合は、ディスクの発売元にお問合せください。また標準規格外のディスクを再生し、その結果本機に故障や不具合が発生した場合、保証期間内であっても有償修理となります。

お手入れについて

●レンズのクリーニング
レンズにゴミやほこりがたまると、ディスクを正しく読み取れず、音飛びや画像の乱れ、再生できないなどの症状が起こる場合があります。このような場合は、市販のレンズクリーナーをご使用して汚れを取り除いてください。

●結露
結露が発生した場合、ディスクを本機にセットすると、ピックアップレンズやディスクに水滴がつくことにより、ディスクを正しく読み取れず、正常に動作しないことがあります。本機はよく乾燥した状態でご使用ください。結露が発生してしまった場合は、本機の電源を入れたまま、最低 2 時間は乾燥のために放置してください。

●本体のお手入れ方法
柔らかい布で乾拭きをしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で 5 ～ 6 倍に薄めて布に浸し、よく絞った後に汚れを拭きとってください。その後、必ず乾いた布で再度本体を拭いてください。アルコールやシンナーなどが付着すると、塗装や印刷がはげたりケースが変形したりする恐れがありますのでご注意ください。お手入れの際は必ずアダプターをコンセントから抜き、本体の主電源を OFF にしてから拭いてください。

製品の廃棄について

●製品のご使用が終了し、製品を廃棄する場合、燃えないゴミや資源ゴミ、粗大ゴミ、小型電気回収など、各自治体により取り扱いがことなります。お住いの自治体の指示に従ってください。

免責について

●お客様または第三者が本製品の誤使用または使用中に生じた故障、またその他の不具合などを含め、本製品の使用によって受けられた損害については法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責を負いません。予めご了承ください。

●当社が関与しない各種機器との組み合わせによる誤作動から生じた損害に関しまして、当社は一切その責を負いません。予めご了承ください。

●本取扱説明書の記載事項を守らないことによる損害や事故に関しまして、当社は一切その責を負いません。予めご了承ください。

製品仕様

品名	15.6インチ液晶フルセグポータブルDVDプレーヤー
電源	DC12V 2.0A　（ACアダプター:AC100～240V 50/60Hz）
本体サイズ	約 W390xH50xD268mm　※折りたたみ状態
製品重量	約 1.85kg ※バッテリー含む
液晶	15.6インチTFT液晶　LEDバックライト　1366x768 RGB
消費電力	17W
推奨動作温度	0℃～40℃
対応フォーマット	DVDビデオ・DVD-R/RW（CPRM/VRモード含む）
	オーディオCD・CD-R/RW
動画対応ファイル形式	MP4・AVI（720×576）
音声対応ファイル形式	MP3
画像対応ファイル形式	JPEG
テレビ受信チャンネル	地上デジタル UHF（13～62ch）
	（フルセグ受信／ワンセグ受信）
	※インターネット回線を利用しての受信環境には非対応
出入力端子	AV入出力端子・USB端子・mini USB端子・SDカードスロット
	イヤホン出力端子・miniB-CASスロット・アンテナ端子
インターフェース	USB2.0　※最大 32GBまで対応　（再生用）
	miniUSB　※最大 256 GBまで対応　（録画用）
SDカードスロット	※最大8GBまで対応
スピーカー出力	2W×2
充電バッテリー	リチウムイオンポリマー　2000mAh
充電再生時間	充電時間：約 4時間／再生時間：約 2時間
	※充電池による充電／再生時間は使用環境により変化します
付属品	ACアダプター・DCシガーアダプター・miniB-CASカード
	AVケーブル・リモコン（試用電池付）・簡易TVアンテナ
	USB変換ケーブル
	車載用バッグ・イヤホン・取扱説明書（製品保証書付）

※地デジ放送を受信する場合、一部地域や環境施設によって電波が入らない地域がございます。
予めご了承ください。

※仕様は製品の改善・品質向上のため予告無く変更される場合があります。

保証規定

この製品には保証書が付いています。
保証書は販売店が所定事項（店名、お買い上げ年月日など）を記入の上、お渡しいたしますので、保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
保証対象は製品本体のみとなります。（付属品類は保証の対象外です）
保証期間はお買い上げの日から１年間です。
保証期間中は保証規定に基づき無料で修理いたします。
ただし、次のような場合は保証期間中でも有償での修理対応となります。

1. 保証書の提示が無い場合。
2. 保証書にお買い上げ日、お客様名の記入、販売店の押印が無い場合。
3. 誤った使用、不当な修理、改造、分解で生じた故障または損傷。
4. 使用時に起きた傷、色あせ、汚れ、または保管の不備で起きた損傷。
5. 一般家庭用以外（業務用、または異常な連続使用）での使用による損傷、故障。
6. お買い上げ後の落下、故意による破損、輸送等で生じた故障または損傷。
7. 火災、天災地変、塩害、異常電圧、指定外電圧での使用、などで生じた故障または損傷。
8. 新品と交換した場合は一回限りとなります。以降の修理などについては有償となります。
9. 液晶画面のドット抜けは液晶パネルの特性上、保証の対象外です。
10. 保証期間が過ぎているときはお買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご都合に合わせ有償修理いたします。
11. 弊社との未取引の販売店でお買い上げの場合、お買い上げ店での対応となる場合があります。また個人間での売買、譲渡のものに関しましては保証いたしかねますので予めご了承ください。
12. 無償、有償に関わらず修理対応の場合、交換パーツ等が変わる場合があります。

保証書

Ver.1.0.0

本保証書は製品ご購入日から下記保証期間内で、製品本体(消耗部品を除く)に故障が発生した場合に下記記載内容で無料修理する事をお約束するものです。修理は必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

【無料修理規定】

1. 取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合に限り無料にて修理いたします。
   ●無料修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本保証書を添えてご依頼ください。
2. 保証期間内でも次のような場合には有償になります。
   ●使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
   ●火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源(電圧、周波数) などによる故障及び損傷。
   ●ご購入後の移動、落下あるいは輸送などによる故障及び損傷。
   ●本保証書のご提示がない場合。
   ●本保証書にご購入年月日、お客様名、ご購入販売店名を記入のない場合、あるいは字句を書換えられた場合。
   ●消耗品、付属品などの交換などによる故障及び損傷。
3. 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証は致しません。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。
6. 修理の際は大切な情報は必ずメモなどバックアップをおとりください。初期状態に戻すことがあります。
7. データの取り扱いについて
   ●修理依頼品がメモリーなど記録媒体を搭載または使用する製品の場合、製品に使用した記録媒体等に記録されたデータ(お客様が登録した地図データ、録音・録画した音楽・映像データ、各種設定内容等を含む)を必要に応じて修理の過程で閲覧・実行する場合がありますが、修理の目的以外に使用いたしません。
   ●本修理サービスにおきまして、当社は記録データについての複製、バックアップ、復元作業等は一切行いません。
   ●修理のために必要と判断した場合、修理依頼品の記録媒体等の初期化、交換、工場出荷状態に戻す等の作業を行わせていただきます。その際にお客様が登録したデータや著作権を含む記録データおよびお客様が追加したファイル、設定等は失われます。必要なデータ及びファイル等はあらかじめお客様にてバックアップを作成いただく様お願い致します。
   ●修理等の作業にあたっては細心の注意を払いますが、前項以外の場合であっても作業の過程で記録データの破損・消失等が生じる場合があります。
   当社は、記録データの破損・消失等についての責任は負いかねますので、ご了承願います。
   ●修理等の作業にあたって部品交換した場合は、交換した部品は所有物として回収させていただき、返却は致しかねますのでご了承願います。

※修理の際は大切な情報は必ずデータのバックアップまたはメモなどをおとりください。
また大切な記録データ(音楽・映像など)なども必ずバックアップをおとりください。

販売元：ダイアモンドヘッド株式会社
開発元：株式会社カイホウジャパン

ご購入日　西暦　　年　　月　　日	ご購入販売店、住所、電話番号
お客様名	
保証期間　ご購入日より　1年間	
機種名　　OT-FD156K	

■本製品についてのお問合せはこちら

お客様サポートセンター

一般電話　042-631-5357

FAX:042-631-5359

営業時間：平日10:00～17:00（土日祝祭日は除く）